

**R.I.D.2660 INTERACT
ANNUAL REPORT
(2016-2017)**

SCRUM

~ No.42 ~

Interact
Rotary Sponsored Club



目 次

◆ 発刊にあたって	1
◆ 2015～2016年度 新入生歓迎会報告	2
◆ 2016～2017年度 海外研修報告	7
◆ 香港第3450地区との交流行事に関する報告	19
◆ 2016～2017年度 年次大会報告	20
◆ 各インターアクトクラブ活動報告	36
清風学園 I A C	
大阪桐蔭中学校・高等学校 I A C	
浪速中学校・浪速高等学校 I A C	
四天王寺高等学校・中学校 I A C	
金光八尾中学校高等学校 I A C	
相愛中学校・高等学校 I A C	
大阪国際大和田中学校・高等学校 I A C	
高槻中学校・高等学校 I A C	
◆ インターアクトクラブ名簿	45
◆ ローテーション表	54
◆ 編集後記	55

《SCRUM No.42》 発刊にあたって

インターアクターの皆さん、今年度のインターアクトクラブの活動はいかがでしたか。

地区の活動としては、新入生歓迎会に始まり、海外研修、そして年次大会がありましたね。新入生歓迎会と年次大会では、テーマに沿って勉強したり交流したりして、リーダーシップをとることや協力することを学びました。海外研修では国際交流を通して、国際人のあり方について考え、他の国を見ることによって自分たちや日本を客観的に見つめ直す機会を得ました。

各校の活動では、それぞれのクラブがロータリアンや顧問の先生の助けを得て、自分達で考えたり行動することができたでしょうか。各校によって活動内容は違いますが、奉仕活動を通してすばらしい体験をし、毎年成長した姿を見せてくれていると思います。

このSCRUMには一年間の思い出がたくさん詰まっています。読み進むたびにその場面場面の映像がよみがえってくることでしょう。ただ、思い出の記録だけではなく活動のヒントもたくさん書かれています。各クラブの記録の中にはこれからの活動の参考にできるものもたくさん詰まっていますので、今後の活動に役立てていただけたらと思います。

最後になりましたが、本年度は初めて海外研修でフィリピンを訪れ、また、香港のインターアクトを受け入れるという貴重な体験もしました。各校の顧問の先生方には大変お世話になり、ありがとうございました。各行事にご協力いただきました、松本ガバナーはじめ多くのロータリアンの皆様、ガバナー事務局の皆様、厚く御礼申し上げます。そして、このSCRUMを編集・発行いただきました大阪国際大和田中学校・高等学校の顧問の先生、インターアクトクラブの皆さん、お世話になりました。ありがとうございました。

平成29年2月

国際ロータリー第2660地区
インターアクト委員会委員長
小池 貢 (大阪帝塚山 RC)

2015～2016 年度

国際ロータリー 第 2660 地区

インターアクトクラブ 新入生歓迎会

Interact
Rotary Sponsored Club



日 時	2016年6月5日(日)
場 所	大阪府羽衣青少年センター(浜寺公園南端)
ホストクラブ	清風学園インターアクトクラブ
スポンサークラブ	大阪南ロータリークラブ

2015～2016年度 国際ロータリー 第2660地区
インターアクト新入生歓迎会プログラム

- 1、日時 2016年6月5日(日) 9:30～16:00
- 2、場所 大阪府羽衣青少年センター(浜寺公園南端)
〒592-0002 大阪府高石市羽衣公園丁
(最寄駅:南海本線「羽衣」・JR「東羽衣」から徒歩約15分)
TEL 072-263-1271
- 3、活動内容 焼き板作成、バーベキュー、クイズ大会
- 4、プログラム
- | | | |
|-------|---------------|----------------------------|
| 9:00 | 1) 受付 | |
| 9:30 | 2) 開会式 | 司会: 中村 亮太 |
| | 開会宣言 | 清風学園 IAC 会長
山下 永遠 |
| | 歓迎と激励の言葉 | RI2660地区ガバナー
立野 純三 |
| | 開会の言葉 | 地区インターアクト委員長
西 秀樹 |
| | 歓迎の言葉 | 大阪南ロータリークラブ会長
藤井 眞澄 |
| | 来賓・参加クラブ紹介 | 大阪南 RC インターアクト委員長
早瀬 祥人 |
| 10:00 | 3) 焼き板作成 | |
| 12:00 | 4) 昼食(バーベキュー) | |
| 14:00 | 5) 後片付け | |
| 15:00 | 6) クイズ大会 | |
| 15:30 | 7) 閉会式 | |
| | 講評 | RI2660地区ガバナーエレクト 松本 進也 |
| 16:00 | 8) 生徒解散 | ロータリアン・顧問会議 |
- 5、服装・持参物 動きやすく、汚れても大丈夫な私服
タオル・筆記用具・水筒

2016年 新入生歓迎会 出席者一覧

ガバナー	立野 純三
直前ガバナー	泉 博朗
ガバナーエレクト	松本 進也
ガバナーノミニ	片山 勉
ガバナーノミニー・デジグネート	山本 博史
ローターアクト委員長	丸尾 照二

清風学園	
顧問	中村 明夫
	儀満 光治
	森田 一義
高2	山下 永遠
	中村 亮太
	山野 大樹
	宮野入 悠太
	平尾 一成
	櫛部 湧人
	植田 廉太郎
	濱口 蒼太
中三	○ 奥田 功太郎
	○ 日比 功太
	○ 岡所 良太
	○ 鈴木 隆行
	○ 矢田 隼也
中二	○ 原田 雄斗
	○ 前田 峻輝
大阪南RC	藤井 眞澄
	中島 成和
	飯井 克典
	早瀬 祥人
	鮫島 武信

大阪桐蔭	
顧問	仲谷 浩一
	山西 啓太
中1	○ 深澤朱音
中2	泉菜穂子
高1	○ 浅野瑞紀
	○ 木元 友理香
	○ 山本 慧
高2	○ 福山 未夕
	澤田 有矢
	松井 優季
	大木 壮
	扇田 隼輔
	岡山 昂司
大東RC	大矢 克巳
	空門 満也
	中野 隆二
	大東 弘
	木村 克己
	森岡 信晶
東村 正剛	

浪速	
顧問	伊藤 富樹
	田井 香織
高1	○ 八木 風雅
高2	山田 優芽花
	村上 真衣
高3	藤田 涼佑
	鬼頭 さくら
	林 直進
	相良 健太郎
	石田 紗彩
	泉本 莉那
	伍用 英美里
	吉野 美和
當山 虎太郎	
大阪帝塚山RC	小池 真

○印は、新入生を表します。

ロータリアン	39
顧問	20
インターアクター	159
ローターアクター	2
事務局	1
合計	221

金光八尾	
顧問	森 祥太郎
	川畑 公美子
	前田 裕子
中3	小阪 直輝
高1	○ 岩本 有加
	○ 柳 美初
	○ 浜田 佳奈
高2	藤本 有江
	古田 篤哉
	○ 西村玲於奈
	○ 野中一樹
	二俣 善紀
高3	日下部 瑞穂
	芝下 隼矢
	縄田 壮祐
	森本 佑輝
	綱谷 優
	木下 七海
	牧野 翔太
	魚山 理恵
八尾RC	北尾 明日香
	田中 康正
	西 秀樹
	中西 広美

相愛	
顧問	若生 哲
	杉本 肇子
中3	浦島 菜那
	○ 向井 りな
	○ 村田 都
	○ 山田 彩未
	○ 奥田 雛子
	○ 小松 磨未子
	○ 大土 翼
	○ 源 明日香
高2	笠 真央
	○ 長谷川 恵
	○ 松岡 のどか
高3	○ 有田 朋加
	○ 錢高 文善
	○ 川瀬 康平
大阪RC	

大阪国際和和田	
顧問	辻 莊一
	松川 稔
高1	北村 円
	飯田 涼太郎
	○ 伊部 真佑
	○ 大島 桃音
	○ 小椋 和莉
	○ 佐野 友香
	○ 立山 千恵香
	○ 谷川 太一
	○ 小崎 暉斗
	○ 津曲 優輝
	○ 堀田 優花
	○ 山口 諒也
	○ 山田 克樹
	○ 岸 和沙
	○ 今井 南々帆
	○ 大上 晴郁
	○ 下西 美佑
	○ 田中 梓
高2	○ 西 健斗
	○ 星加 千晴
	○ 百井 花
	○ 森田 ゆきの
	○ 山田 真実
	○ 和田 萌花
	○ 相川 友紀
	佐々木 彩結
	佐藤 花捺
	末吉 祐奈
高3	菱川 梨紗
	上原 知紗
	柏木 ゆい
	国司 誠人
守口イブニングRC	白木 綾乃
	井上 晴菜
	植田 彩音
	福田 治夫

四天王寺	
顧問	梶本 康子
	松本 真奈
	西矢 貴文
中1	○ 川谷 もも
	○ 北元 虹香蘭
	○ 田村 日向子
	○ 松向寺 沙代利
	○ 岡本 侑季
	○ 山下 咲喜
	○ 川岸 愛莉
	○ 川端 悠祐子
	○ 木村 菜々美
	○ 稲上 陽菜
中2	片山 智裕
	乾 叶佳
	○ 片桐 礼捺
	小谷 奈々
	吉田 明里
	○ 瓜園 千紗
中3	○ 實 彩那
	中村 藍紀
	富尾 真奈花
	○ 高嶋 歩香
	○ 鍵本 風花
	完山 百合乃
	甲田 もも
	阪上 礼奈
	○ 頃安 瑞希
	○ 伏見 比那子
高1	○ 小手川 菜波
	○ 西田 彩香
	○ 三好 惠理花
	○ 大上 真奈
高2	笠島 真帆
	乾 叶果
高3	中本 叶望
	宏月 章乃
	羅 欣怡
	石田 もも
	金本 恒二郎
大阪天王寺RC	松井 隆雄
	水取 孝司
	高木 正夫
	谷野 清孝
	土屋 篤
	石東 周平
	川上 哲司
	木村 正承
	桐山 和謙
	中島 崇
	山本 隆之
アリ・ムスタファ	

高槻	
顧問	島山 昌三
	○ 新熊瑞久
中3	○ 倉場康太
	○ 今井健人
	○ 木村 嘉人
高1	○ 島田 魁智
	○ 岸本 知也
	○ 赤穂 志文
	○ 廣田 雄亮
	○ 田穂 龍平
	○ 中川 耕介
	○ 安部 政俊
	○ 滝野 哲也
	○ 吉村世緯
	○ 大橋一輝
	○ 長江龍之介
	○ 草山蒼波
	○ 松岡 滉樹
	○ 市川 紘太郎
高2	○ 鈴木滉
	○ 木佐真拓真
	○ 吉田太郎
高槻RC	○ 高橋温
	内本 繁

ローターアクト	
関西大学RAC	東澤 三和
関西大学RAC	藤田 大輝

ガバナー事務局	井上 望美
---------	-------

新入生歓迎会

清風中学校 3 年一同

今年度の新入生歓迎会は、清風中学校・高等学校が幹事校として大阪南 RC の皆さんをはじめロータリアンやインターアクター、ウエストジャパンの方々、各学校の先生方など多くの方々に支えていただきながら行いました。

最初の開会式では来賓の方やロータリアン、インターアクターの方々の紹介があったあと、各学校の新入生ごとに紹介がありました。今年も多くの新入生が参加をしました。これからもインターアクトというものがたくさんの人の身近なものになればいいなと思います。また、開会式が始まる時には降っていた雨が、終わるころにはほとんど止んでいたのよかったです。

開会式のあとは、それぞれ班に分かれ焼き板を作りました。焼き板とは、木の板を焚き火の上で燻し、表面についた炭を落とすことで木の木目を浮かび上がらせるものです。初めてする人がほとんどでしたが、なんとか力を合わせ、自分たちで木を焼くところから完成まで進めることができました。そして、その完成した板でメンバーそれぞれが絵をかき、絵しりとりを作りました。絵しりとりは、しりとりの内容もそれぞれ班で話し合い決めました。この日班単位でする初めてのことでしたが、みんなで一つのことをすることでメンバーの間に会話が増え、何も知らなかったお互いの仲を深めることができたと思います。

お昼ごはんには、班ごとでバーベキューをしましたが、そこでも炭火や野菜の準備の一部を自分たちで行いました。このころには、一人一人が初めよりも積極的になっていたので、役割分担をしたり多く声を掛け合ったりしてスムーズに準備・食事をすることができました。普段とは違う環境での食事で戸惑うこともありましたが、みんなで楽しくおいしく食べることができました。また、後片付けはさらにスムーズに進みました。

そのあと焼き板で作った絵しりとりを使い、クイズ大会をしました。お互いの班の絵しりとりを当て合うもので、班によってはしりとりの内容が難しく当てられないところもありましたが、勝ち負けにかかわらず全員が楽しむことができたと思います。

最後には松本ガバナーエレクトからお話をいただき、解散後もみんなが朝よりも明るい雰囲気になっていたと思います。これからのインターアクトの活動でも今日の交流を生かし、協力して様々なことに取り組んでいきたいと思います。今回、新入生歓迎会の開催をしてくださった立野ガバナー、ロータリアン、インターアクター、ウエストジャパン、各学校の先生方、その他の多くの方々、本当にありがとうございました。

新入生歓迎会

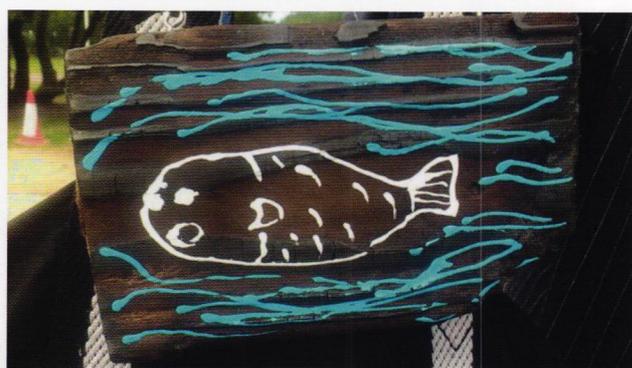
大阪国際大和田高校 1年 山田 真実

インターアクトクラブの新入生歓迎会のバーベキューは、中学生から高校3年生まで幅広い年齢の皆さんと触れ合えて、とても貴重な経験になりました。普段はなかなか会えない他校の皆さんと共に活動できただけでなく、先輩、後輩、関係なく接してくれたことが大変嬉しかったです。

まずは焼き板を作りました。単なる焼き板ではなく、一人一人が描いた絵をつなげるとしりとりになる「絵しりとり」を作りました。中にはかなり無理矢理な絵もあったのですが、それが話すきっかけになって、打ち解けられた気がしました。班員の皆が個性的でおもしろく、良かったなと思いました。一見しただけでは何だかわからない不思議な絵や、すごく上手な絵があり、見ていてとても面白かったです。板を焼く時には、火を保ち続けるのに必死で少し疲れてしまいましたが、うまく焼きあがってよかったです。

バーベキューもしたのですが、やはり火をおこすのが一番大変な作業でした。普段家で使っている鉄板が本当に便利なものだと感じました。頑張って起こした火で焼いたお肉は、いつも食べているお肉よりおいしかったです。

皆、知らない人たちばかりでしたが、共に活動に取り組んでいるうちに気にならなくなりました。また機会があれば、交流したいなと思います。他校の先輩がとても優しく接して下さって嬉しかったので、来年は私が後輩に色々教えてあげたいと思います。インターアクトを通して、互いに交流し、お互いを理解しあう意味が少しわかったような気がしました。これから活動に参加するのが楽しみです。



2016—2017年度
RI2660地区

海外研修旅行 (フィリピン・セブ島)



海外研修行程

年月	時刻	日程	備考
8月2日	15:25	関空発セブ島へ	PR 409便
	18:45	セブマクタン空港着後 ホテルへ	
	20:00	ホテルにて夕食	
8月3日	8:15	ホテル発 マゼラン上陸記念碑 ラプラプ酋長像見学	
	9:30	ソオン小学校着 バンカルハイスクールとの交流会	
	12:00	昼食	ソオン小学校にて
	13:00	ソオン小学校発 カラウイサン小学校へ出発	
	13:30	カラウイサン小学校にて文房具類贈呈式と折り紙交換会	
	16:00	カラウイサン小学校発 グランドモール(コルドバ地区)にて買い物)	バンカルハイスクール生と共に
	17:15	グランドモール発 レストランへ送迎	
	20:15	レストラン発 ホテルへ	
	21:00	ホテル内 バンケットルームにて河内音頭練習	
8月4日	8:30	ホテル発 セブ市内観光	
	11:00	マルコポーロホテル内 セブ観音前にて慰霊祭 終了後SM CITY CEBUへ	
	12:00	昼食・自由行動(SM CITY CEBUにて)	SM CITY CEBU にて自由食
	15:30	SM CITY CEBU発 ホテルへ	
	16:30	ホテル着 フェアウェルパーティの準備	
	18:30	合同夕食会 ビーチサイドにて	
	20:30	河内音頭の演舞	
	21:00	終了・解散	
8月5日	6:00	朝食	
	6:40	解団式の後、セブマクタン空港へ出発	
	9:00	セブ島発 空路帰国の途へ	PR 410便
	14:25	関西空港着	

2016～2017年度インターアクト海外研修（フィリピン）参加者名簿

参加団体	氏名
大阪帝塚山 R C	浅野 敏行
	澤田 正實
	岡田 茂樹
	山下 義一
	小池 貢
	川上 富清
	泉 博朗
	小島 康秀
	藤田 誠一郎
計	9名
大阪南 R C	早瀬 祥人
計	1名
大東 R C	橋本 正幸
	空門 満也
	中野 隆二
	佐藤 多加志
	中野 秀一
	木村 克己
計	6名
大阪天王寺 R C	西浦 誠二
	金本 恒二郎
	土屋 篤
	石束 周平
	水取 孝司
	山本 隆之
計	6名
八尾 R C	西 秀樹
	田中 康正
	中西 広美
計	3名
大阪 R C	松岡 一郎
	山田 惣一郎
	川瀬 康平
	小浦 芳生
計	4名
守口イブニング R C	福田 治夫
	金丸 大介
計	2名
高槻 R C	入谷 治夫
	朝倉 通憲
計	2名
R 2660地区ガバナー事務所	井上 望美

ロータリアン	33名
顧問	9名
インターアクター	48名
ガバナー事務所	1名
計	91名

参加団体	氏名	
清風 I A C	中村 明夫	顧問
	好井 昴太郎	高2
	山下 永遠	高2
	鳥阪 大史	高2
	植田 廉太郎	高2
	濱口 蒼太	高2
	宮野入 悠太	高2
	計	7名
大阪桐蔭 I A C	浦木 道史	顧問
	塚本 理沙	高2
	松井 優季	高2
	大木 壮	高2
	扇田 隼輔	高2
	岡山 昂司	高2
井上 麻菜美	高2	
計	7名	
四天王寺 I A C	西矢 貴文	顧問
	阪上 礼奈	中3
	勝二 江里奈	高2
	石橋 加保莉	高2
	窪中 麻衣	高2
	笠島 真帆	高2
	乾 叶果	高2
	甲田 もも	中3
	富尾 真奈花	中3
	中村 藍紀	中3
	完山 百合乃	中3
計	11名	
金光八尾 I A C	前田 裕子	顧問
	古田 篤哉	高2
	西村 玲於奈	高2
	野中 一樹	高2
	藤本 有江	高2
	山下 晴生	高2
	伊藤 祐弥	高2
計	7名	
相愛 I A C	若生 哲	顧問
	笠 真央	高3
	森定 里菜	高2
	浦島 菜那	中3
	源 明日香	高2
大土 翼	高2	
計	6名	
大阪国際大和田 I A C	松川 稔	顧問
	山田 真実	高1
	下西 美祐	高1
	菱川 梨紗	高2
	岸 和沙	高1
	大上 晴郁	高1
計	6名	
高槻 I A C	畠山 昌三	顧問
	長島 拓海	高1
	中川 耕介	高1
	安部 政俊	高1
	鈴木 滉	高2
	齋藤 惟成	高1
計	6名	
浪速 I A C	田井 香織	顧問
	伊藤 富樹	顧問
	東尾 萌々	高1
	前田 里江	高1
	井上 玲華	高1
	木下 慧斗	高1
	木瀬 敢太	高1
計	7名	

海外研修 1 日目

浪速高校 1 年 東尾 萌々
浪速高校 1 年 前田 里江

8/2（火）～8/5（金）の日程で行われたフィリピン海外研修旅行は、私たちにとって初めてのことばかりでした。初めての海外、初めての実践英語、初めての国際交流、何もかもが新鮮でした。

7/16（土）には、海外研修の準備であるオリエンテーションで今回の研修に参加する他校の生徒の皆さんやロータリアンの方々とお会いしました。最初はすごく緊張していましたが、他校の先輩や先生、ロータリアンの方々が優しく話し掛けてくださり、緊張が少しずつほぐれていきました。オリエンテーションは、まず式典を行い、その後踊りと歌の練習、そして海外研修へ向けての説明という流れになっていました。踊りの練習では、あらかじめ決められた班ごとに分かれて「河内音頭」の練習をしました。踊りの練習の最後は全員で輪になって踊りました。はじめはみんな覚えるのに必死でしたが、慣れてくると笑顔で踊ることが出来るようになりました。また、歌の練習では、男女で左右に分かれて並び、本校インターアクターが決めた今年のテーマソング『WA になっておどろう』の歌を練習しました。初めはあまり声が出ていなかったのですが、だんだん慣れてきたのか、全員が大きな声で歌えるようになりました。オリエンテーションが終わってから、出発日が近づくにつれて、海外研修へ向けての期待と不安が更に膨らんでいきました。

そして海外研修 1 日目、いよいよ出発の日を迎え、幹事校代表として結団式では司会や代表挨拶をしましたが、無事に終えることができ良い経験になりました。今思い返してみても、様々な想いを胸にフィリピンへ飛び立ち、期待と不安に満ちた研修旅行がスタートしたことを鮮明に覚えています。

以上に加え、研修 2 日目から日本に無事に帰るまでに体験したことの全てが、良い経験となりました。このような素晴らしい研修を企画して頂いたロータリアンの皆様には大変感謝しています。誠に有難うございました。



海外研修 2 日目



清風高校 2 年 山下 永遠

僕たちは 2 日目の朝にソオン小学校でバンカル国際高校のインターアクターと交流しました。

ソオン小学校への道中、「歓迎されるだろうか」「言語の壁はどれ程分厚いのだろうか」と不安で一杯でした。しかし、いざ小学校の中に足を踏み入れてみると、その不安は一切なくなりました。現地の学生は見ず知らずの僕たちを楽器の演奏や歌、ダンスで温かく迎え入れてくれたのです。日本の「河内音頭」「よさこい」「ソーラン節」などのような伝統的な踊りなのだと思います。伝統芸能にはその国の文化が色濃く反映されるので、フィリピンの本来の姿を垣間見た気がしました。

フィリピーナは幼い頃から母国語であるタガログ語の他に英語が上手なので、グループディスカッションのときには、僕たちが理解し易い英単語を使ってきているように感じました。そのおかげで、英語が達者ではないのですが、会話も楽しくすることが出来ました。また、深く考えさせられたこともありました。将来の夢を聞いたときに、同じグループのフィリピーナが 2 人とも具体的な夢とその理由を持っていて、夢に向かってののに対し、僕には抽象的な答えしかありませんでした。自分が「スタートラインにも立てていないこと」を痛感しました。具体的な目標や夢を高校 2 年生の間に決めたいと思います。いや絶対に「決めます」。その勇気をくれた海外研修でした。

高校生という大切な時期に、このような貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。インターアクターになって本当に良かったです。



海外研修 2 日目



大阪桐蔭高校 2 年

井上 麻菜美 松井 優季 塚本理沙
扇田 隼輔 大木 壮 岡山 昂司

二日目の研修では、ソオン小学校とカラウィサン小学校に訪問しました。どちらの学校でも大勢の小学生たちが予想以上に歓迎してくれてとても驚きましたが、子供たちの元気な姿を見れて嬉しかったです。小学校では、同じ年ぐらいのフィリピンのインターアクターと英語を使って交流し、一緒に折り紙を折り、お互いの将来の夢を話し合うことが出来ました。その中でも一人のインターアクターが「大学でしっかり勉強して、その後、働いて将来、家族を助きたい」と聞いた時、とても感動しました。

また授業の様子を見に行ったときには、現地の先生が快く、教室の中へ招いてくれました。そのため子供たちと一緒に写真をとることが出来ました。小学校での交流はどれも楽しかったのですが、一方で日本の小学校との差に衝撃を受けました。日本と比べて、一人分の机がとても小さく、またトイレが水洗ではなく、バケツの水で流すこと、そして手を洗う水が出ないことなどたくさんあります。バスに乗っているときに見える街並みは、明らかに日本と異なり、高い建物はなく、裸足の人が多くいました。乗り合いバスの雰囲気も印象的でした。普段日本で暮らしていて当たり前だと思っていたことがいかに有り難いかを痛感しました。

最後になりましたが、このような貴重な経験ができる機会を与えてくださったロータリアンの皆さまに感謝致します。本当にありがとうございました。





小学校での文房具の贈呈や折り紙を通した小学生との交流で貴重な体験をした私たちは、スーパーマーケットでの買い物の後、現地のロータリークラブの方々に開いていただいたパーティーの会場へ向かいました。そこには様々な料理が並んでいて、どれもおいしそうでした。その中でも特に印象的だったのは豚の丸焼きです。豚だとはっきり分かる姿だったので、とても驚きました。その他にもサラダやデザートなどがあり、初めて食べる料理もありましたが、とてもおいしかったです。

食事が一段落した頃、現地と日本のロータリアンの方々や私たちインターアクターで歌やダンスを楽しみました。皆さんとても面白いパフォーマンスを披露してくださり、その場が盛り上がりました。

今回の海外研修では、フィリピンの文化や習慣を学んだり、現地の高校生と歌ったり踊ったり、また英語で一緒に話をしたりして交流できました。とても貴重な体験ができ、忘れられない思い出となりました。この旅行を計画してくださったロータリークラブの皆様、支えてくださった顧問の先生方、本当にありがとうございました。





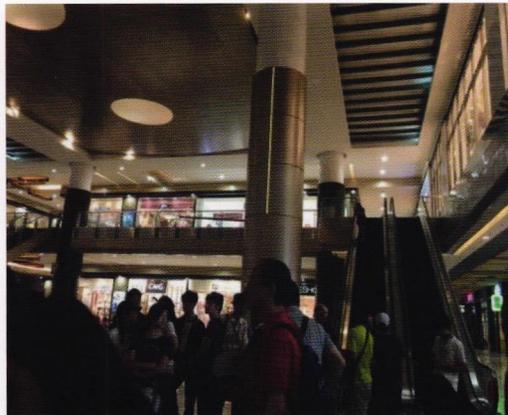
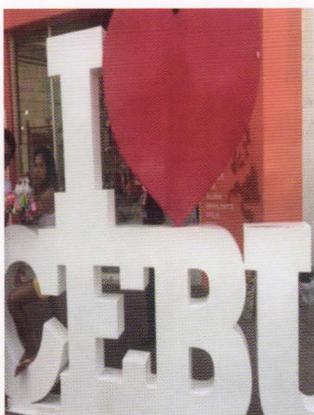
第二次大戦戦没者慰霊のためセブ観音にお参りをした私たちは、それぞれが焼香をしました。厳粛な雰囲気のもと、小休憩がとれ、そこでいただいた南国フルーツの味は何とも絶品でした。慰霊と美味の格差は大きく、それでこそ私たちは海外に来たという距離的に遠い地域での学びと、戦禍を想像すらできない過去をも眼差ざさなければならない立場にあることを実感しました。このように記すのは、私たちが訪れた複合型のデパート”SM City Cebu”においても強烈な印象を残したからです。

このデパートの入り口には、日本ではない光景が広がっています。セキュリティチェックです。エアポートのそれを想像して頂ければそれでいいのです。もちろん手荷物の確認もあります。違いはチェックするガードマンは、警察官のようであり、中にはピストル携帯の人までおります。ウチとソトの違いは非常に明瞭です。入れる者は富める者であるということのようです。ここへの移動の最中にもバスの車中からうかがうことができたのですが、移動手段のジプニーは 7 ペソ (15 円くらい)。マクタン島では、裸足の人をたくさん見かけました。ところがここはどうでしょうか。大阪のデパートと比較しても遜色ありません。もちろん、靴を履いていない人などいません。中にいるのは私たち同様外国人であったり、裕福な人達のようなのです。

ここで私たちは、班ごとの自由行動で自由に昼食を摂ることになっていました。トラブルがないようにと言う配慮が一層身に染みます。金銭のトラブルや窃盗などは起こりそうもありません。ここはセブですが、バスの窓から眺めたセブではありません。想像をはるかに超える異環境に身を置いていることが、否応なしに感じさせられました。普段の私たちもそうだったのかもしれないと反省を迫ってくるものがありました。

それでも、ここで昼食を食べ、ここで日本にいる家族のために土産を買うことが私たちのすべきことでした。セブの食べ物って何だろうとか、自分たちの口に合うものは何だろうかと気をまわしながら、ぼんやりソトとウチを考えていました。経済の格差をどこまで容認するか、ということを考えるにつけ、セブは大切なことを教えてくれたように思います。もしも、あの格差が私たち自身のものであったとしたら、私たちは我慢ならないでしょう。

豊かな生活が当たり前になっている私達は、日本に何が足りないかを教えてもらったような気になりました。より多くの方が幸せになるように何をすべきかというのは本当に大きな課題です。高校生のうちにこれを考える機会に恵まれたことに感謝したいと思います。



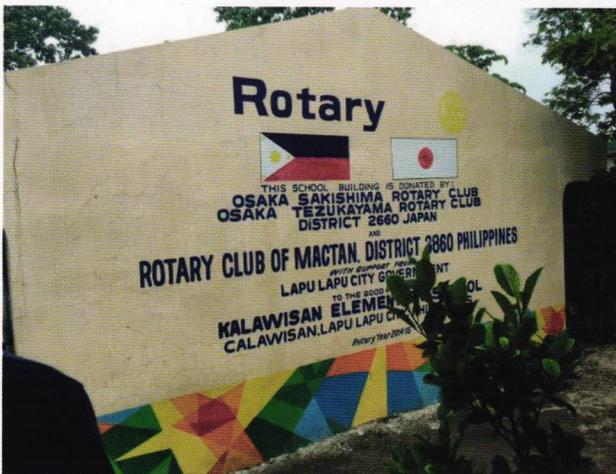
海外研修 3 日目



高槻高校 1 年 齋藤惟成

4 日目の早朝に帰国の飛行機に乗る僕たちにとって 3 日目はあっという間でした。3 日目の夜に予定されていた現地の学生たちとの夕食が始まる前に男子生徒は甚平、女子生徒は浴衣に着替えて会場となっていた向かいの小さい島に海を歩いて渡って移動しました。島に着くと現地の学生が先に着いていて歌を歌ったり、写真を撮ったりして僕たちを待っていました。夕食が始まり、僕たち生徒の前に 1 人ずつ現地の学生が座るとい座席で緊張していましたが、時間が経つにつれ会話も弾み最後の夕食を彼らと共に楽しく過ごすことができました。夕食後に自由時間があり、砂浜に座って現地の学生と話をしたり、一緒に歌を歌ったりと各自思い思いの時間を過ごせました。最後にメインの河内音頭があり、日本で練習してきた河内音頭を現地の学生たちにハッピーを配り一緒に踊りました。この時には彼らと過ごせる最後の時間だったので思う存分楽しみました。最後に彼らに日本からプレゼントを渡して無事に終わりました。

4 日間という短い期間でしたが、日本では学ぶことができない多くのことを学ぶことができ、また、たくさんの刺激を受けました。特に日本より決して裕福とは言えない環境の中でもいつも笑顔で僕たち日本人より現地の人々が幸せそうに見えたところは 1 番の驚きでした。このような素晴らしい機会を与えて下さったロータリークラブの皆様、引率で僕たちに同行して下さいました先生方、共に活動したメンバーに感謝しています。ありがとうございました。



海外研修 4 日目



大阪国際大和田高校 1 年 大上 晴郁

最終日は朝早くからホテルを出て、空港へ向かいました。街並みや景色を見るのはこれで最後かと思うと、とても悲しくなりました。

今回のボランティアで、私はたくさんのことを学び、見ることができました。車の間で水タバコの一本売りをしている人、整備の行き届いていない道路、夜に出回っている小さな子供達、富裕層との目に見えるあからさまな溝、日本で見たことがないものばかりで、とても衝撃を受けました。

華やかな部分ばかり目立つ著しい経済発展の裏で、苦しい状況から抜け出せない人がこんなにもいることに驚きました。しかし、そんな現状とは裏腹に、現地の人々は幸せそうに笑っているのです。私達の乗るバスに笑顔で手を振るのです。私は、お金には変えがたい、心の豊かな人々の笑顔を大切にしたいと思いました。特に、小学生たちのまぶしいほどの笑顔は忘れられません。

私はこのボランティアを、その時で終わるものではなく、未来につなげるものにするという目標を持って取り組みました。その為に地元の中学生に「一番大切だと思うものは何か」と「一番必要と思うものは何か」と聞きました。するとどちらの質問に対しても「教育」という声が上がりました。私たちが訪れた子供達は、すべて教育を受けられています。しかしフィリピンには、家も、お金も、教育も受けられていないストリートチルドレンと呼ばれる子供達がたくさんいます。その子たちは、小さいうちからスリなどの犯罪に手を染め、生きるために自分も売ります。もしその子たちが少しでも英語を話せたら、少しでも計算が出来たら、状況は少しでも変わるだろうにと思います。政府の対策も効果がないようです。今本当に支援が必要なのは、私達の見えない、もっと深い所で苦しんでいる子供達だと思います。中学生が言うには、彼らに必要なのはまず「屋根」だそうです。安全に学べる場所がなければ、教育は受けられません。いくつかの大学のボランティアには、一から学校を作りに行くものもあるようです。そういった支援をいつかやりたいと思います。

私達の中で「ボランティアを本当に、ただの純粋な気持ちで行うのは難しい。」という話が上がりました。確かに私はまだボランティアの本当の意味や、あり方が分かりません。でも何か助けたいという気持ちがある限り、すべて行動に移して、自分なりのボランティアを見つけようと思います。インターアクトの皆さん、ロータリアンの皆様、4日間ありがとうございました。



2016～2017年度インターアクト海外研修を終えて

浪速高等学校・中学校インターアクトクラブ

顧問 伊藤 富樹

「来年の海外研修はセブに決まったよ。」と地区インターアクト委員長の小池様から連絡を頂き、出発に向けての準備が始まりました。フィリピンは貧しい国としてメディアに取り上げられることがあります。殺人などの重大犯罪は意外と少ないと聞いておりました。ただし、インターネットで調べると治安が悪い場所が多く、特に観光客が狙われやすいことを知り、生徒が無事に研修できるか不安に思うこともありました。しかし、小池委員長をはじめ多くのロータリアンの皆様がセブに何度も渡り下見と現地での折衝を重ね、その内容について逐一ご連絡頂いたことにより不安は払拭されました。

今回は、各校のインターアクターで事前に集めてもらった文房具を現地小学校に訪れて直接手渡す奉仕活動と、現地インターアクターと共に現地の小学生に日本文化の一つである折り紙を伝える交流活動の2つを軸においた研修計画となりました。直接文房具を渡す企画は、2年前の金光八尾高校での年次大会で実施された「文房具をフィリピンに贈る」という企画をさらに発展させたもので、直接手渡すことで現地小学生の笑顔から喜びを肌で感じ、奉仕活動の意義を知ってもらおう。また、小学生に折り紙を教えるという同じ目標に向かって現地のインターアクターと協力することで、異文化理解につながる交流活動の重要性を感じてもらおう。以上の2つの思いから立案されました。

内輪話にはなりますが、6月の新入生歓迎会時点での本校の海外研修希望者は0名でした。幹事校として、生徒がいない状況では式典が成り立ちません。そこで、高校1年の担任を通じて募集活動を急遽実施したこともあり、今回参加させて頂いた5名を含めた6名が新規に入部してくれました。しかし、1年生で地区行事に一切参加した経験が無い状態でしたので、7月16日海外研修オリエンテーションが初舞台となりました。2・3年生のフォローのお陰で1年生も無事に初の地区行事を乗り越えました。この経験が支えとなり、今回の海外研修を盛り上げることができたと思っています。

8月2日結団式、ついに海外研修のスタートです。1年生ながら、式典での司会・進行や地区代表としての挨拶など様々な幹事校としての務めを果たし、8月5日無事に帰国するまでの間、緊張感を持ってやり遂げてくれました。そして、今回の研修目標であった2つのテーマは十分に達成されたと感じています。準備も含め怒涛のように過ぎた数ヶ月でしたが、参加した1年生も、陰で惜しみなく動いてくれた2・3年生も本当に良い経験になったのではないのでしょうか。

最後になりましたが、ホストクラブである大阪帝塚山ロータリークラブの皆様方、各校顧問の先生方、松本ガバナー、大阪咲洲ロータリークラブの皆様方、RI2660地区のロータリアンの皆様方、事務所の栗正様・井上様に心からお礼申し上げます。ご支援・ご協力頂きまして、誠に有難うございました。

海外研修を振り返って

インターアクト委員長 小池 貢

今回の海外研修を振り返るにあたり、まずは事故なく研修を終了できましたことを、皆様に感謝申し上げます。

セブへの海外研修は例年と比べると初めて取り組むことが多くありました。

まず、フィリピンを訪問するのは、インターアクトの海外研修としては、これが初めてだったことです。治安が良くないと言われているフィリピンの中では、セブは比較的安全な地域ではありますが、それでもやはりインターアクター達の安全確保にはかなりの気を遣いました。今回は2660地区の危機管理委員会の皆様に、大使館・領事館と連絡を取り合い、万が一に備えた体制を整えていただきました。

また、例年海外研修では、現地のインターアクター達と交流するのですが、今回はセブのインターアクターだけでなく、現地の小学生とも交流する機会を作りました。

そして、例年看護師に同行して頂いていましたが、今年はロータリアンの医師にご同行頂きました。一人でも多くのロータリアンにインターアクトの活動と理解を深めて頂きたいと思ったことと、やはりインターアクター達の安全を考えてのことでした。

下見の際に、今回国際交流をしたバンカルハイスクールに行き打ち合わせをしましたが、バンカルハイスクールのどこで交流するかが問題となりました。屋根のある広い場所が無いからです。フィリピンの学校には体育館や講堂はありません。一緒に下見に行っていた3860地区のマクタン RC のメンバーに小学校の校長がいて、ご自分の小学校なら屋根のある広いスペースがあって使わせて頂けるとの申し出を頂き、ソオン小学校でバンカルハイスクールとの国際交流となりました。

研修を振り返ると、インターアクター達はフィリピンの道路、建物や目に入ってくる多くのものに驚いたのではないのでしょうか。トタンの家、狭い道、そして乗り合いの軽自動車を改造した乗り物などです。フィリピンの小学校に2校行きましたが、体育館は無い、運動場は無い、暗い教室、日本との違いは大きく、フィリピンの貧しさに対して自分達がいかに恵まれているのかを痛感したことと思います。

インターアクター達は不要になった鉛筆等、文房具をそれぞれの学校で集めて、セブの小学生に直接手渡してきました。自分達が行ってきたボランティアの結果によってたくさんの子供達から最高に輝いた笑顔をもらい、ボランティアの素晴らしい体験ができたのではないかと思います。

インターアクター達にはこの体験を生かし、また自分を振り返り感謝の心をもって成長していってくれることを願っています。

ご同行頂いたインターアクト委員の皆様をはじめ、多くのロータリアンの皆様、顧問の先生、ガバナー事務所の皆様、本当にご協力ありがとうございました。

香港 IAC 来阪 国際交流



相愛中学校・高等学校 IAC 笠真央

香港第 3450 地区から、19 名のインターアクターがお越しになりました。

大阪で国際交流ができるまたとない機会であると同時に、海外でおもてなしをいただいていることをイメージしながら取り組みを進めました。地区の IAC のうち、金光八尾 IAC、浪速 IAC、相愛 IAC が対応可であるとの声があり、観光地、奉仕活動のアクセス面から相愛で交流スタートとなりました。もちろん、3 校のインターアクターは、出迎えからほぼ全ての交流事業に参加いたしました。

一行は、大阪城見学から美々卵での食事を経て、相愛学園本町学舎にお越しになると、ウェルカムセレモニーとして、山本能楽堂の山本章弘先生の仕舞を鑑賞させていただきました。山本先生は能のオモテを示しながら、喜怒の表現やオモテに刻まれた年齢表現について判りやすく説明されたばかりでなく、能装束の着付け体験まで行って下さり、香港からお越しのエドワード様がいかにも能役者に変じていく過程を私たちにを見せて下さいました。香港側より交流ポイントに「文化体験」を望まれましたので、もう一点は茶道の体験をしていただきました。“Tea ceremony”をはじめて体験し、お茶を味わうことだけが茶道だと誤解があったようですが、お茶をいただく前のところからセレモニーが始まっていることやお茶菓子にも意味があることなどについて知ると大変驚いていました。

友好の契機にすべく互いに出し物をしたりプレゼント交換をいたしました。香港のインターアクターが準備した数学で習う“三角形の合同、相似をダンスで覚える”というパフォーマンスは、ともに体を動かすことを通して、まさに“Ice breaking”となりました。第 1 日目のフィナーレは、住吉大社吉祥殿でのウェルカムパーティーでした。住吉大社見学のあとのパーティーでは、かなり打ち解けた様子となり河内音頭をみんなで踊ることもできました。

伝統文化を学ぶ第 1 日目から変わって第 2 日目は、海遊館見学の後、道頓堀にて熊本震災に向けた募金活動を行い、募金 ¥31,018 を国際ロータリー第 2720 地区を通じて熊本・大分地震支援対策室に納めることができました。あべのハルカスに臨み、広い大阪を見渡すことができたのも良い思い出となりました。フェアウェルパーティーでは、インターアクターの絆が深まったのか SNS の ID やアドレス交換が活発に行われました。交流できたこと、またそれを支えていただいたことに心から感謝申し上げます。今回の交流事業を通しての大きな産物は大阪や自己の再発見であったと申し上げて報告とさせていただきます。ありがとうございました。



2016～2017年度 国際ロータリー 第2660地区

インターアクトクラブ年次大会

「多様な生物との共存－未来に豊かな水源の森を」



日時 2016年11月13日〈日〉

場所 大阪桐蔭中学校・高等学校 本館

ホストクラブ 大阪桐蔭中学校・高等学校インターアクトクラブ

スポンサークラブ 大東ロータリークラブ

2016～2017年度 国際ロータリー 第2660地区
インターアクトクラブ年次大会 プログラム

ターゲット「多様な生物との共存－未来に豊かな水源の森を」

9:30 受付・登録開始 本館1F エントランス前 大阪桐蔭中学校高等学校

10:00	開会式	司会:塚本 理沙 井上 麻菜美	
	点鐘・開会宣言	RI2660 地区 IAC 代表	岡山 昂司
	君が代・IACの歌斉唱	ソングリーダー	池上 耀一郎
	ターゲット発表	RI2660 地区 IAC 代表	岡山 昂司
	開会の言葉	RI2660 地区 IA 委員長	小池 貢
	歓迎の言葉	RI2660 地区大東 RC 会長	大東 弘
	来賓紹介・参加クラブ紹介	RI2660 地区大東 RC IAC 委員長	中野 隆二
	来賓祝辞	RI2660 地区ガバナー	松本 進也
	幹事校校長挨拶	大阪桐蔭中学校高等学校校長	小野 研一

各校インターアクトクラブ活動報告

海外研修の報告(DVD 放映)

11:30 講演 日本熊森協会
講師：室谷 悠子 「豊かな森を未来へ～クマが教えてくれた森の危機～」

12:20 昼食 (本館1F 食堂)

13:10 グループワーク・発表 (体育館アリーナ)

15:00	閉会式 講評	RI2660 地区ガバナーエレクト	片山 勉
	ロータリーアクトクラブのご紹介	地区 RA 委員長	坂田 淳一
	次年度ホストクラブへの引き継ぎ	大阪桐蔭中学高等学校→相愛学園中学高等学校	
	閉会宣言・点鐘	RI2660 地区 IAC 代表	岡山 昂司
15:30	解散・片付け・・・終了後、委員・顧問は合同会議		

講演

演題：「豊かな森を未来へ～クマが教えてくれた森の危機～」

講師：室谷 悠子（むろたに ゆうこ）



プロフィール

1977年兵庫県尼崎市生まれ。尼崎市立武庫東中学校在学中に、野生のクマが棲む森林が戦後の人工林政策によって奪われてしまったことを知る。当時理科教師だった森山まり子（現日本熊森協会会長）と共に日本熊森協会を立ち上げた生徒のうちのひとり。熊森協会が自然保護運動をしていくためには弁護士が必要だと考え、京都大学で環境社会学を学んだあと大阪大学高等司法研究科を修了し2008年から弁護士。

一般財団法人 日本熊森協会副会長

公益財団法人 奥山全トラスト理事長

ターゲット 「多様な生物との共存」－未来に豊かな水源の森を－

今年度の年次大会のターゲットは「多様な生物との共存」－未来に豊かな水源の森を－としました。日本の森には、小さな虫から、小動物やクマ、サル、シカ、イノシシなどの大型野生動物に至るまで、たくさんの生き物が暮らしています。しかし、豊かな森が消え、住み処を奪われ、お腹をすかした大型野生動物は、里に下りてきて、人に危害を与えています。動物が悪いのでしょうか。いや、そのようなことはありません。私達、人間が動物たちの生息地を奪っているのです。動物たちにとって、多様な生き物が息づく森が必要です。森は日本の文明を支えてきました。森があることで人の暮らしや人の心は豊かになるのです。このことは将来も変わることはありません。全ての生き物と人がバランスを保ち、共存共栄するために豊かな森を未来に残すことが私達の使命です。森をしっかりと観察し、関心を持って自然環境の保全に努めましょう。

インターアクトの目的および目標

1. 建設的な指導力を養成し、自己の完成を計ること。
2. 他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること。
3. 家庭と家族の重要性に対する認識を涵養すること。
4. 個人の考えを認める立場に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと。
5. 個人的成功のためにも、地域社会の改善のためにも、更には団体としての業績を上げるためにも、各人がその責任を負うことがその基本であることを強調すること。
6. すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識すること。
7. 地域社会、国家および世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供すること。
8. 国際理解と全人類に対する善意を増進するために個人として、または団体として、進むべき道を切り開くこと。

★インターアクトの歌★

ここにつどいし我らは 誇りも高し インターアクト
地域社会に奉仕の理想 示せ今こそ その誠
微笑をもて 差し伸べよ手を
世界を結ぼう インターアクト我ら

【参加インターアクトクラブ】

清風学園インターアクトクラブ

浪速中学校・高等学校インターアクトクラブ

四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブ

金光八尾中学校高等学校インターアクトクラブ

相愛中学校・高等学校インターアクトクラブ

大阪国際大和田中学校・高等学校インターアクトクラブ

高槻中学校・高等学校インターアクトクラブ

大阪桐蔭中学校・高等学校インターアクトクラブ

2016～2017 年度 国際ロータリー第2660地区インターアクト年次大会 参加者名簿

RI2660 地区ガバナー(大阪北 RC)	松本 進也
RI2660 地区ガバナーエレクト(大阪東 RC)	片山 勉
RI2660 地区ガバナーノミニー(大阪南 RC)	山本 博史
RI2660 地区代表幹事(大阪北 RC)	浜田 晋
RI2660 地区幹事(大阪北 RC)	高田 祥宏
RI2660 地区インターアクト委員長(大阪帝塚山 RC)	小池 貢
RI2660 地区ローターアクト委員長(枚方 RC)	坂田 淳一
RI2660 地区青少年活動委員長(大阪西南 RC)	瓦谷 勝
大東 RC 会長	大東 弘
大阪桐蔭中学校高等学校 校長	小野 研一

大阪南 RC	早瀬 祥人
大阪南 RC	熊田 昭夫
大東 RC インターアクト委員長	中野 隆二
大東 RC	佐藤 多加志
大東 RC	中野 秀一
大東 RC	中嶋 啓文
大東 RC	森岡 信晶
大東 RC	西山 潤一
大東 RC	森田 武雄
大東 RC	田川 和見
大東 RC	大西 寛治
大東 RC	木村 克己
大東 RC	東村 正剛
大東 RC	空門 満也
大東 RC	柿木 篤
大東 RC	森脇 克弥
大東 RC	岡井 康弘
大阪帝塚山 RC	澤田 正實
大阪帝塚山 RC	浅野 敏行
大阪天王寺 RC	羽賀 順一
大阪天王寺 RC	金本 恒二郎
大阪天王寺 RC	松井 隆雄
大阪天王寺 RC	水取 孝司
大阪天王寺 RC	土屋 篤
八尾 RC	山本 昌市
八尾 RC	山陰 恭志

八尾 RC	田中 康正
八尾 RC	中西 広美
八尾 RC	西 秀樹
八尾 RC	吉田 法功
高槻 RC	入谷 治夫
高槻 RC	馬淵 晴彦
東大阪 RC	横田 孝久
東大阪 RC	川端 啓一

ローターアクト地区会計	藤田 大輝
ローターアクト大阪南ゾーン代理	宮田 陽太
大阪東ローターアクトクラブ 会長	坂口 雄哉
大阪東ローターアクトクラブ 会計	白川 正彦
大阪東ローターアクトクラブ 副幹事	堀 美久
ROTEX	栗正 絵美

ガバナー事務所	井上 望美
---------	-------

日本熊森協会副会長	室谷 悠子
-----------	-------

日本熊森協会 スタッフ	米田 真理子
日本熊森協会 スタッフ	安部 真理子
日本熊森協会 スタッフ	家田 俊平
日本熊森協会 スタッフ	山本 沙耶
日本熊森協会 スタッフ	植田 達也
日本熊森協会 スタッフ	水見 竜哉
日本熊森協会 スタッフ	今井 奈保子

清風学園(顧問 2 名・高 25 名・中 10 名)			
清風学園 IAC	佐藤 宏樹	高 2	A
清風学園 IAC	三重野 航平	高 2	B
清風学園 IAC	川本 新	高 2	C
清風学園 IAC	湯浅 鉄平	高 2	D
清風学園 IAC	服部 佑一郎	高 2	E
清風学園 IAC	伊藤 大貴	高 2	F
清風学園 IAC	中井 大智	高 2	G
清風学園 IAC	鳥阪 大史	高 2	H
清風学園 IAC	宮野入 悠太	高 2	I
清風学園 IAC	好井 昴太郎	高 2	J

清風学園 IAC	山下	永遠	高2	K
清風学園 IAC	山野	大樹	高2	L
清風学園 IAC	平尾	一成	高2	A
清風学園 IAC	濱口	蒼太	高2	B
清風学園 IAC	植田	廉太郎	高2	C
清風学園 IAC	儀満	光紀	高1	D
清風学園 IAC	石橋	和樹	高1	E
清風学園 IAC	村岡	洵弥	高1	F
清風学園 IAC	和田	典悟	高1	G
清風学園 IAC	中平	雄一朗	高1	H
清風学園 IAC	加藤	和真	高1	I
清風学園 IAC	三浦	夏樹	高1	J
清風学園 IAC	酒井	佑介	高1	K
清風学園 IAC	藤井	大貴	高1	L
清風学園 IAC	秋月	優輝	高1	A
清風学園 IAC	囷所	良太	中3	B
清風学園 IAC	奥田	功太郎	中3	C
清風学園 IAC	日比	功太	中3	D
清風学園 IAC	矢田	隼也	中3	E
清風学園 IAC	鈴木	隆行	中3	F
清風学園 IAC	岩壺	拓真	中3	G
清風学園 IAC	栗岡	賢誠	中2	H
清風学園 IAC	原田	雄斗	中2	I
清風学園 IAC	前田	峻輝	中2	J
清風学園 IAC	小林	由和	中2	K
清風学園 IAC	儀満	光治	顧問	A
清風学園 IAC	森田	一義	顧問	B

浪速中学高等学校(顧問2名・高12名)

浪速中学高等学校 IAC	泉本	莉那	高3	L
浪速中学高等学校 IAC	相良	健太郎	高3	A
浪速中学高等学校 IAC	林	直進	高3	B
浪速中学高等学校 IAC	吉野	美和	高3	C
浪速中学高等学校 IAC	當山	虎太郎	高3	D
浪速中学高等学校 IAC	井上	玲華	高1	E
浪速中学高等学校 IAC	東尾	萌々	高1	F
浪速中学高等学校 IAC	木瀬	敢太	高1	G
浪速中学高等学校 IAC	木下	慧斗	高1	H
浪速中学高等学校 IAC	八木	風雅	高1	I

浪速中学高等学校 IAC	前田	里江	高1	J
浪速中学高等学校 IAC	濱野	奈央	高1	K
浪速中学高等学校 IAC	田井	香織	顧問	C
浪速中学高等学校 IAC	伊藤	富樹	顧問	D

四天王寺高等学校中学校(顧問2名・高5名・中16名)				
四天王寺高等学校中学校 IAC	田村	菜裕	高2	L
四天王寺高等学校中学校 IAC	小手川	菜波	高1	A
四天王寺高等学校中学校 IAC	西田	彩香	高1	B
四天王寺高等学校中学校 IAC	三好	惠理花	高1	C
四天王寺高等学校中学校 IAC	大上	真奈	高1	D
四天王寺高等学校中学校 IAC	中村	藍紀	中3	E
四天王寺高等学校中学校 IAC	鍵本	風花	中3	F
四天王寺高等学校中学校 IAC	完山	百合乃	中3	G
四天王寺高等学校中学校 IAC	甲田	もも	中3	H
四天王寺高等学校中学校 IAC	頃安	瑞希	中3	I
四天王寺高等学校中学校 IAC	坂上	礼奈	中3	J
四天王寺高等学校中学校 IAC	西松	結子	中3	K
四天王寺高等学校中学校 IAC	兵頭	虹香	中3	L
四天王寺高等学校中学校 IAC	吉田	彩伽	中3	A
四天王寺高等学校中学校 IAC	稲上	陽菜	中2	B
四天王寺高等学校中学校 IAC	吉野	嵯記	中2	C
四天王寺高等学校中学校 IAC	乾	叶佳	中2	D
四天王寺高等学校中学校 IAC	片桐	礼捺	中2	E
四天王寺高等学校中学校 IAC	北元	虹香蘭	中1	F
四天王寺高等学校中学校 IAC	東畠	凜	中1	G
四天王寺高等学校中学校 IAC	山下	咲喜	中1	H
四天王寺高等学校中学校 IAC	梶本	康子	顧問	E
四天王寺高等学校中学校 IAC	松本	真奈	顧問	F

金光八尾中学校高等学校(顧問3名・高5名・中1名)				
金光八尾中学校高等学校 IAC	伊藤	祐弥	高2	I
金光八尾中学校高等学校 IAC	山下	晴生	高2	J
金光八尾中学校高等学校 IAC	野中	一樹	高2	K
金光八尾中学校高等学校 IAC	古田	篤哉	高2	L
金光八尾中学校高等学校 IAC	西村	玲於奈	高2	A
金光八尾中学校高等学校 IAC	小阪	直輝	中3	B
金光八尾中学校高等学校 IAC	森	祥太郎	顧問	H
金光八尾中学校高等学校 IAC	金崎	桂悟	顧問	I

金光八尾中学校高等学校 IAC	堀口 智哉	顧問	J
-----------------	-------	----	---

相愛中学高等学校(顧問1名・高4名・中6名)			
相愛中学高等学校 IAC	松本 のどか	高3	C
相愛中学高等学校 IAC	有田 朋加	高3	D
相愛中学高等学校 IAC	森定 里菜	高2	E
相愛中学高等学校 IAC	源 明日香	高2	F
相愛中学高等学校 IAC	浦島 菜那	中3	G
相愛中学高等学校 IAC	向井 りな	中3	H
相愛中学高等学校 IAC	村田 都	中3	I
相愛中学高等学校 IAC	山田 彩未	中3	J
相愛中学高等学校 IAC	小松 磨未子	中3	K
相愛中学高等学校 IAC	奥田 雛子	中3	L
相愛中学高等学校 IAC	若生 哲	顧問	K

大阪国際大和田中学高等学校(顧問2名・高2名)			
大阪国際大和田中学高等学校 IAC	末吉 祐奈	高2	A
大阪国際大和田中学高等学校 IAC	白木 綾乃	高2	B
大阪国際大和田中学高等学校 IAC	松川 稔	顧問	L
大阪国際大和田中学高等学校 IAC	北村 円	顧問	A

高槻中学校高等学校(顧問1名・高10名・中3名)			
高槻中学校高等学校 IAC	鈴木 滉	高2	C
高槻中学校高等学校 IAC	齋藤 惟也	高1	D
高槻中学校高等学校 IAC	長島 拓海	高1	E
高槻中学校高等学校 IAC	市川 紘太郎	高1	F
高槻中学校高等学校 IAC	滝野 哲也	高1	G
高槻中学校高等学校 IAC	長江 龍之介	高1	H
高槻中学校高等学校 IAC	赤穂 志文	高1	I
高槻中学校高等学校 IAC	安部 政俊	高1	J
高槻中学校高等学校 IAC	岸本 知也	高1	K
高槻中学校高等学校 IAC	奥村 拓斗	高1	L
高槻中学校高等学校 IAC	倉場 康太	中3	A
高槻中学校高等学校 IAC	新熊 瑠久	中3	B
高槻中学校高等学校 IAC	今井 健人	中3	C
高槻中学校高等学校 IAC	田中 敏博	顧問	B

青少年交換来日学生	Grant Steven Restel		E
青少年交換来日学生	Hunter Vineyard		F

青少年交換来日学生	Adelaide Carsin		
青少年交換来日学生	Laura Garant		H
青少年交換来日学生	Korrina Chantland		

大阪桐蔭中学高等学校(顧問3名・高17名・中3名)

大阪桐蔭中学高等学校 IAC	阿部 光祐	高2	I
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	池上 耀一郎	高2	J
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	澤田 有矢	高2	K
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	松井 優季	高2	L
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	安藤 理華子	高2	A
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	井上 麻菜美	高2	B
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	塚本 理沙	高2	C
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	大木 壮	高2	D
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	岡山 昂司	高2	E
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	扇田 隼輔	高2	D
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	木元 友理香	高1	F
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	松井 春佳	高1	G
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	山本 慧	高1	H
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	福山 未夕	高1	I
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	岡市 隆平	高1	J
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	福田 雄也	高1	K
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	北原 舜也	高1	L
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	深澤 朱音	中1	A
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	西田 樹生	中1	B
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	山口 ひな	中1	C
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	仲谷 浩一	顧問	
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	浦木 道史	顧問	
大阪桐蔭中学高等学校 IAC	山西 啓太	顧問	

インターアクト年次大会 祝辞

2016-17 年度ガバナー

松本進也

さて、本日は 2016-17 年度インターアクト年次大会がこのように盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

昨年 11 月 11 日には、高槻中学校・高等学校インターアクトクラブが第 2660 地区の第 8 番目のインターアクトクラブとして、認定状伝達式が執り行われ、丁度一年が経過いたしました。本日は顧問の田中先生はじめ、13 名の皆さんが出席されていますが、この 1 年間、手探りではありますが、他のインターアクトクラブに倣い、充実した活動を実施されたことと思います。この後の活動報告を楽しみにしております。

インターアクトの設立の目的は奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で、相互に活動する機会を青少年に与えるためであります。この目的を皆さんは十分に理解され、各クラブでの活動を日々進めておられると思います。

国際理解という観点からは、8 月 2 日・5 日のフィリピン海外研修も 8 校から顧問の先生含め、総勢 60 名の皆さんが参加され、現地クラブとの交流もあり非常に有意義であったと存じます。また、8 月 27 日、28 日に香港第 3450 地区インターアクター 19 名と同行者 3 名が来日しました。相愛高校でのお点前体験や、熊本地震の募金活動など、各種行事を共に行ったことは貴重な経験であったのではないのでしょうか。

インターアクトに入会されたきっかけは様々と思いますが、このご縁を大切に、国際社会に羽ばたいていかれるよう、ロータリアンは協力を惜しみません。また、皆さんが生涯に亘りロータリーと関わりを持ち、今後は、本年度創立予定の第 2660 地区ロータリー学友会に入会され、将来のロータリーを担う輝ける存在になることを願っております。

現在、世界の大きなニュースとしては、アメリカ大統領選挙が行われ、接戦の末、ドナルド・トランプ氏が就任となったことです。この数週間のアメリカ各地での熱狂的な選挙運動の様子を皆さんもテレビで目にしたと思います。日本では総理大臣の選挙にあたりますが、このようにトップの選抜方法は同じ民主主義でも日本とアメリカでは随分違います。アメリカのニュースだと捉えるのではなく、日本との違いや、日本の方法と比べての短所や長所など、常に比較対象を持った目で考える癖をつけてみて下さい。そうした思考が真の国際人としての第一歩となります。

最後になりましたが、幹事校である大阪桐蔭中学校・高等学校の小野校長先生、仲谷先生、浦木先生、山西先生、提唱クラブの大東ロータリークラブの皆様、今大会の開催にご協力を頂きまして有難うございました。高い位置からではございますが御礼を申し上げます。そして、本日の年次大会が皆さんにとって実りあるものとなりますことと、ご参集の皆様のご多幸とご健康を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

インターアクト年次大会 報告

地区インターアクト委員長 小池 貢

11月13日、大阪桐蔭中学校高等学校で本年度の年次大会が開催されました。今年も、インターアクター120名、松本ガバナーをはじめとするロータリアン44名、交換留学生5名、ローターアクター5名、その他ガバナー事務局の方などを含め、総勢200名が参加する盛大な大会となりました。

開会式の後には今年度のフィリピン・セブ海外研修のDVDを鑑賞し、インターアクターたちが楽しそうに、また積極的にいきいきと国際交流をしている様子を映像で見ることができました。これを見て、今回海外研修に参加したインターアクターたちは、自分たちがいかに素晴らしい体験をしたかを再認識できたと思います。また、残念ながら今回参加できなかったインターアクターたちも、次年度以降はぜひ参加してみたいと感じたのではないのでしょうか。

さて、今年度の年次大会のターゲットは「多様な生物との共存」ー未来に豊かな水源の森をーというもので、日本熊森協会の方々の講演を聞き、各自がいろいろ感じ考えることができるテーマでした。日本熊森協会とは熊をシンボルとして、奥山生態系保全・復元に取り組み、森を再生することにより豊かな水源を将来へ残すために活動する実践保護団体だそうです。インターアクターたちは13歳から18歳までなので、まだ実感がわいていないかもしれませんが、われわれロータリアンたちは環境の変化を肌で感じているのではないのでしょうか。近年は、夏の異常なまでの暑さ、台風の発生時期の変化やゲリラ豪雨など、大変多くの変化を確かに体感しているように思います。

昼食をはさみ、いよいよグループワークの時間です。120名のインターアクターと交換留学生は12組の各校入り混じったグループに分かれ、どうすれば森を再生でき、どうすれば動物を保護できるのかを話し合い発表しました。的を射たものからユニークなものまでさまざまな意見が出されていました。インターアクターたちは、普段接することのない人たちと議論し意見交換することで、協力して意見を出しあったり、リーダーシップをとってみんなの意見をまとめたりすることを体験できたと思います。また、他の人と自分の発想の違いを感じ、考え方の幅を広げるいい機会になったことでしょう。

片山ガバナーエレクトにご講評いただいた後、今回参加してくださった坂田地区ローターアクト委員長、ローターアクターのみなさんからローターアクトクラブの紹介とクラブへお誘いをいただきました。インターアクトからローターアクトへ、そしていずれはロータリーへとつながる道筋ができれば素晴らしいことだと思います。

最後になりましたが、お世話いただきました大阪桐蔭中学校・高等学校の小野校長をはじめ顧問の先生方、生徒の皆さん、そしてスポンサークラブの大東RCの大東会長はじめメンバーの皆さん、大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

今後インターアクトクラブが益々発展していくことができますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

インターアクト年次大会を終えて

大阪国際大和田高校 2年 白木 綾乃

11月13日(日)、インターアクトクラブ年次大会に大和田高校インターアクトクラブも参加しました。大和田高校からは部長と副部長、顧問の先生2人、計4人で参加しました。

この年次大会は、ホスト校である大阪桐蔭中学校・高等学校 本館で行われました。開会式では、各校ごとに活動報告をした後、フィリピンへ海外研修に行った時のDVDを見ました。どの高校も、校外清掃を行っており、熊本募金に伴い、急遽募金を実施したところも多くありました。海外研修では、フィリピンのインターアクトクラブの人たちと交流し、現地の小学校に事前に集めた文房具を届けました。フィリピンのインターアクターとの交流はとても楽しそうでした。

今回の年次大会のターゲットは「多様な生物との共存-未来に豊かな水源の森を」ということで、日本熊森協会の室谷さんからお話を聞きました。室谷さんはパワーポイントを使って今の日本各地の森の状況や、森に生息する動物たちのことなどを教えてくれました。特に、クマに関することとお話してくださいました。想像していたものとは異なった臆病で可愛らしいクマの姿を知りました。

昼は事前に決められていたグループに分かれてお弁当を食べました。グループ内で自己紹介したり、お互いのことを聞きあったりして交流しました。お弁当はおいしく、初対面の人たちとたくさんのお話をし盛り上がりました。

午後は体育館アリーナへ移動して、熊森協会作の紙芝居を観ました。それは、実際にあった話を紙芝居にしたものでした。紙芝居を見た後、先程のグループに分かれて森に生息する動物たちと農家の方々が仲良く暮らすにはどうしたら良いかを考えました。少し時間を取った後、各グループで出した答えを発表しあいました。面白い考えなどもたくさん出ました。すべてのグループが発表し終わった後、熊森協会の方々の話を少し聞き、閉会式を行って今回の年次大会を終えました。

インターアクトクラブに参加して2年になりますが、他校のインターアクトクラブの皆さんとの交流をいつも楽しみにしています。いつも活動を応援して下さっているロータリークラブの皆様へ感謝したいと思います。ありがとうございました。



年次大会

大阪桐蔭高校 2年 井上麻菜美

年次大会が11月13日日曜日に行われました。ホストクラブは大阪桐蔭中学校・高等学校インターアクトでスポンサークラブは大東ロータリークラブでした。今回のターゲットは「多様な生物との共存—未来に豊かな水源を」でした。

10時から開会式が始まり、点鐘、開会宣言が行われました。各校のインターアクト部活動報告ではそれぞれの学校での活動の様子を知ることができ、自分たちももっと精進していかなければならないと改めて感じました。3泊4日のフィリピンでの海外研修のDVDの中では、現地の子供たちが伝統的な踊りや歌を披露している光景があり、現地の人たちが気さくでフレンドリーだと感じました。ウェルカムパーティーでの子供たちと遊んだことを思い出して本当に良い経験をさせてもらったと思いました。この経験は一生忘れません。その後には日本熊森協会の室谷さんによる「豊かな森を未来へ—クマが教えてくれた森の危機—」と題しての講演会がありました。その中で、室谷さんは中学生の時に野生のクマが棲む森林が戦後の人工林政策によって奪われことを知り、当時の理科教師と日本熊森協会を立ち上げたということをお話されていました。それを聞いて本当に感動しました。室谷さんの行動力が本当に素晴らしくて私もそんな風に自分の思いを貫いて行動していきたいです。そして森が私たちに与えてくれた恩恵を考え、自然環境保全をする必要があると思いました。

13時10分からは体育館でグループワークが行われました。グループごとに熊と人間が共存するためのアイデアを考え発表しました。ユニークな意見がたくさんありました。普段の生活では考えないことを考えることが出来、面白かったです。15時から閉会式がありました。ロータリーアクトクラブの紹介を聞いてとても楽しそうだと興味がわき、大学生になったら、ぜひ参加したいです。

今回各学校でごとでリサイクル活動の一環としてペットボトルのキャップを回収していただき、集めたキャップを環境団体に送りました。本当にありがとうございました。

最後にホスト校としてまとめることの大変さや責任感、終わった後の充実感を持ち、自分が日々楽しく活動できていたことを実感しました。今回協力していただきましたロータリーのクラブの皆さんに感謝がいっぱいです。ありがとうございました。

年次大会に参加して

大阪国際大和田高校 IAC 顧問
松川 稔

平成 26 年 6 月、大和田高校インターアクトクラブが設立された。当時 1 年生だったクラブ一期生は 3 年生となり、既にアルバム用クラブ写真の撮影も終えた。3 年生が引退した現在、2 期生である高 2 生がクラブを引っ張っている。私自身、「インターアクトの歌」をいつの間にか歌えるようになっており、少しはインターアクトの顧問らしくなってきたのかもしれない。

本校にとって 3 回目の年次大会は、大阪桐蔭高校が会場校であった。ペットボトルキャップの回収を行って頂いたのだが、本校参加者が少なかったために多くのキャップを持参できず残念であった。午前中は各校の活動発表があった。各校の取り組みを拝見して、本校も継続的に活動することの重要性を再確認した。そして生徒達が楽しみにしている海外研修の映像報告。空港からホテルに向かうバスから見えた景色が、昨日のように思い出される。小学校訪問や平和学習など、ビデオで振り返ってみても、大変有意義な研修であったことがわかる。教育や格差の問題について、参加した全員が何かを感じたことであろう。国際理解と社会奉仕をテーマとする「インターアクトらしい」海外研修であった。

ビデオに続き、日本熊森協会副会長 室谷氏の講演を拝聴した。一見、緑が茂った森であっても、実際には熊が生息しにくい環境になっていることや、環境を守り、動物達と共生していくことが、人間が生きていくためにも重要であることを学んだ。午後からは協会の皆様による紙芝居とグループワークがあり、午前の学びを一層深めることができた。

この 3 年間、生徒達がインターアクトを通して国際理解や奉仕活動に取り組めるような環境の整備に努めてきた。個人的な話で恐縮だが、私自身も、ボーイスカウトのボランティア指導者として活動している。時折、創始者であるベーデンパウエルが残した「最後の言葉」を思い出す。その中で彼は青少年に対し、「金持ちになっても、社会的に成功しても、わがままができて、それによって幸福にはなれない。(中略) 幸福を得る本当の道は、他の人に幸福を分け与えることにある。この世の中を、君が受け継いだ時より、少しでもよくするように努力し、あとの人に残すことができたなら、とにかく一生を無駄に過ごさず、最善を尽くしたのだという満足感を得ることができる。」と述べている。生徒達にはインターアクト活動を通して、他者に幸福を分け与えることが自分の幸福であると感じられるような、心豊かな人間に育ってほしい。そして自らの積極的な関わりによって、世の中をより良いものにして欲しい。新入生歓迎会や年次大会といったプログラムが、そのきっかけとなることを心の底から願っている。

年次大会報告

大阪桐蔭中学高等学校 I A C 顧問
仲谷 浩一

今年度の年次大会の取り組みは、「多様な生物との共存－未来に豊かな水源の森を」をターゲットとして開催しました。この活動を通じて自然環境保護について意識を高めることを狙いとししました。また、各学校に依頼し、年次大会当日にペットボトルのキャップを集めて持ってきてもらうというリサイクル活動にも取り組みました。目標数量を上まわるキャップを回収することができました。ご協力、ありがとうございました。身近なところからできる活動としてこれからも積極的に行動してもらいたいと思います。集まったキャップはエコキャップ推進協会さんに送る予定です。

11月13日（日）大阪桐蔭中学高等学校で年次大会が開催されました。参加人数はインターアクター120名、ロータリアン44名、顧問16名、ローターアクト5名、事務局など計200名でした。大会当日、午前中の式典では、各校の活動報告、今年度の海外研修の報告（DVD放映）の後、日本熊森協会副会長 室谷悠子さんから講演をしていただきました。講演内容は、日本の熊が生息しにくい環境の実態やそれに対する解決策などをスクリーンを使って説明して頂きました「森を残し、全生物と共存しなければ、人間も生き残れない。」という言葉が印象に残っています。私たち都会に住む人間にとって日頃意識しにくいことを教わり、問題意識を持たたように思います。今後、問題点をどのように解決していくかが大切です。小さな芽が大きな大輪を咲かせてくれることを期待しています。

午後からは体育館で熊と人の関わりとしての紙芝居を見せていただき、その後、グループごとに分かれ、どのように共存を図っていけば良いかを話し合い、グループの代表が発表しました。同じ同世代のみんなが語り合っている様子は、とても微笑ましく感じました。生きとし生けるものすべてが明るい未来となることを願いつつ、報告を終わります。

最後になりましたが、ロータリークラブの皆様には何かとご尽力いただきましたことに対して深く感謝申し上げます。また、お世話いただいた日本熊森協会のスタッフの皆さんに心からお礼申し上げます。

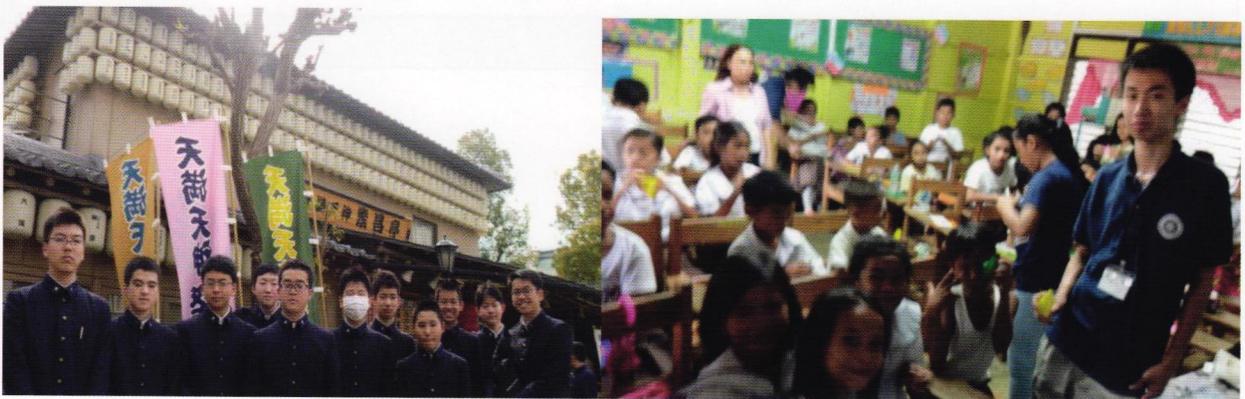
各インターアクトクラブ活動報告

清風学園

現在は中学・高校を合わせると40人近い大所帯になっています。2月、7月には献血への呼びかけに参加させていただきました。6月に新入生歓迎会を開き、各校のIACと交流しました。8月の海外研修では、フィリピンの学生たちと英語でコミュニケーションをとり、自分たち自身も将来について考える良い機会になりました。手渡した文房具を喜んでもらえてよかったと思います。9月の文化祭では、今年もプライドポテトの販売をしました。結束が強くなった2日間でした。10月は四天王寺学園IACの皆さんと赤い羽根募金の活動に参加し、みんなで呼びかけをしました。短時間でしたが、募金して頂いた方々に感謝の気持ちを伝えられた素晴らしい時間でした。11月はTIRUMI こどもホスピスでの秋祭りのお手伝いをさせて頂きました。

この活動を清風学園IACのメインの奉仕活動としていきたいと思っています。さまざまな境遇にあるご家族との交流は、この部活でしか得られない大変貴重な体験となりました。

最後に、様々な活動をいつも温かく支援してくださっている大阪南ロータリーの皆様には、本当に感謝しております。今後も、奉仕の精神で様々な活動に参加していきたいと思っています。



大阪桐蔭中学校・高等学校

早朝清掃活動

朝 7 時 45 分から 8 時 25 分ぐらいまで学校の周辺を歩き、タバコの吸い殻や空き缶などのゴミをみんなで拾いました。想像以上のゴミが見つかりました。ゴミ袋がパンパンになりました。改めて環境美化の大切さを学びました。また周囲の人からご苦労様ですと声をかけて頂いてとても嬉しかったです。貴重な体験になりました。

新入生歓迎遠足

6 月に浜寺公園にて、他校の生徒との交流をはかりました。バーベキューと焼き板づくりをしました。最初は緊張をしましたが、少しずつほぐれていき楽しい時間になりました。

海外研修

今年はフィリピンセブ島に行って現地のインターアクターとの交流をしました。フィリピンの町並みは日本と全く異なり、かなりの衝撃を受けました。貧しいながらも幸せそうな表情を浮かべている子どもたちを見て、とても心が打たれました。私たち日本人に足りないもの、ないものを彼らは持っていると思いました。本当に忘れられない経験になりました。またいつか彼らと交流できる日があれば願います。加えて、教会など様々な場所に訪問し、フィリピン文化を体験出来たことにとっても感謝しています。ありがとうございました。

卒業生を送る会

野崎駅周辺のゴミを拾い、そのあと深北公園でバーベキューと簡単なレクリエーションをしました。そのあと先輩にインターアクト部の思い出をひとりひとり話していただきました。私たち後輩がこの部を引き継ぐ決意をした日になりました。

文化祭募金活動

11月3日の文化祭では、毎年恒例のあしなが育英会の募金を呼びかける運動を行いました。今年も多くの方にご支援をいただきました。



浪速中学校・浪速高等学校

私たち浪速高等学校インターアクトクラブは、現在 20 人で活動しています。主な活動は、学校の中にある学院神社や、学校周辺の清掃をしています。2 月は、難波駅前では他校のインターアクターやロータリアンの皆様と一緒に献血の呼びかけを行いました。6 月には、浜寺公園で行われた新入生歓迎会に参加しました。班に分かれて、焼き板作りやバーベキューを楽しみました。活動を通して、だんだんと仲良くなり、その後も同じ班になった皆さんと連絡を取り合っています。

フィリピン海外研修では、日本で集めた文房具を現地の小学生に手渡し、折り紙を一緒にしました。そして、フェアウェルパーティーで、現地の遊びを教えてもらい一緒に楽しみました。この4日間の経験は、かけがえのない宝物になると思います。8 月には、香港インターアクターとの交流会に参加しました。大阪市内観光や、海遊館の見学に行き、募金活動も行いました。香港インターアクターと一緒に日本語で呼び掛けを続けるうちに、募金してくれる方が徐々に増えて、やりがいを感じる活動となりました。2 日間で香港のインターアクターととても仲良くなれて嬉しかったです。

9 月の文化祭では、熊本地震で被災した地域への募金活動を行いました。あいにくの雨でしたが、たくさんの方々に協力していただいた結果、16,990 円もの募金が集まり、大阪帝塚山ロータリークラブを通じて被災地へ届けていただきました。

11 月、住吉大社にて大阪帝塚山ロータリークラブの皆様と一緒に、毎年恒例の清掃活動を行いました。落ち葉が一面に広がっていて、寒い中行う清掃は、大変でした。

これからも様々な活動を通じて、国際交流や奉仕のこころを大切にしていきたいと思います。ロータリアンの皆様、あたたかいご支援を頂きまして、本当にありがとうございます。



四天王寺高等学校・中学校

私たちは主に毎週火曜日と金曜日の朝、学校周辺の清掃活動、金曜日のお昼には例会を行っています。朝の清掃活動では道ばたに捨てられているタバコの吸い殻やコンビニの袋を拾っています。掃除をするたびに、捨てられているゴミを見ると残念な気持ちになりますが、部員みんなで協力してきれいになると、とてもすがすがしい気持ちになります。

新入生歓迎会では朝に降っていた雨も上がり、バーベキューと焼き板作りを楽しみました。他校のインターアクターの皆さんとも楽しく交流ができました。

毎年7月には大阪天王寺ロータリークラブの皆さまとの交流として、ボーリング大会を行っています。ロータリーの方々と部員とでグループに分かれてスコアを競うのですが、ロータリーの皆さまはどなたもボーリングがお上手で、私たちにも優しく教えてくださいます。

8月には毎年恒例の海外研修に行きます。今年はフィリピンへ行き、現地の子どもたちと交流しました。お互いの国や文化を理解することができ、国際親善につながったと思います。

9月の文化祭では、例年と同様に”Children”という店名でカフェと縁日を催しました。店内には世界の恵まれない女の子についてのポスターを掲示し、立ち寄ってくださった方にはパンフレットを配布しました。世界には、学校に通いたくても通えない子どもがいまだにたくさんいるということを知っていただくきっかけを作れたように思います。

10月には区役所の婦人会の方々、清風高校の皆さんと合同で赤い羽根の共同募金の活動をしました。グループに分かれて街頭で呼びかけをし、今年もたくさんの方々から募金をしていただきました。小さなお子さんや学生の方も多く、「この募金どうなるの？毎年見るけどよく知らなくて…」と興味を持ってくれた高校生の方もいました。

年次大会では1年間の活動報告を行い、新入生歓迎会、海外研修で親しくなった他校の皆さんとの仲をより深めることができました。このつながりが来年にも続くことを願っています。

3月には卒業された先輩方の送別会を開き、ビンゴゲームをしながら楽しい時間を過ごしています。これからも今まで以上に活動範囲を広げ、地域社会の発展に少しでも貢献できればと考えています。



金光八尾中学校高等学校



2015～2016年度の始まりは、清風中学・高等学校で行われた年次大会でした。英語落語を通しての文化交流ということで、桂かい枝さんの英語落語は予想以上の面白さでした。自分たちが落語をする番では苦労しましたが、学校の枠を超えてグループワークもでき、有意義な1日を過ごしました。

6月には新入生歓迎会がありました。焼き板作成、バーベキュー、クイズ大会を通して、知らず知らずのうちに初対面のインターアクターとも笑いとともに話をする

機会が増え、本当の交流ができたと思います。7月には、本校の恒例行事である夏期奉仕活動を実施しました。今年度は、本校のインターアクターが長靴を履き、学校前の玉串川の清掃や土手の草刈を行ないました。この日は猛暑で、午前中にもかかわらず、すでに気温は30度を超えていました。太陽が照りつける中、近隣の方々への感謝の気持ちを込めて、懸命に作業を進めました。1時間程度の作業ですが、ごみ袋いっぱいの雑草を刈ることができました。玉串川の土手もたいへんきれいになりました。応援に来ていただいた八尾ロータリークラブの方々にも清掃活動に参加していただき、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。特に、活動が終わった後にきれいになった川の様子を見ると、大きな充実感を味わうことができました。

8月の海外研修は、本校からは6名が参加させて頂きました。フィリピンのインターアクターと交流し、文房具の寄贈や慰霊碑訪問などの観光も通じて、世界の広さと、国際理解の必要性を大いに実感できる良い経験になったと思います。また、8月末には2日間にわたり、相愛高等学校・浪速高等学校のインターアクターと、香港インターアクターとの交流がありました。フィリピンの海外研修で学んだことを生かし、ウェルカムパーティや海遊館見学、募金活動などの活動に積極的に取り組みました。9月には、本校で認知症サポーター養成講座を受講しました。これから社会に出て多くの人と関わりを持つことになる私たちにとって、高齢者や認知症の方とどのように接すればよいのかを学べたことは大変有意義でした。受講の証としてオレンジリングをいただきました。

そして最後は文化祭におけるバザー活動です。今年度の文化祭も、ロータリークラブがかかげる「ポリオ撲滅」というテーマに賛同し、寄付金を集める取り組みを行いました。当日は、バザーを実施しました。自分達インターアクトの部員達だけでなく、八尾ロータリーの方々にも協力をお願いし、多くの物品を集めることができました。バザーは盛況で、寄付金と売上金とを合わせて35,220円集まりました。このお金を全額「ポリオ撲滅基金」に寄付しました。

以上が金光八尾インターアクトクラブの1年間の主な取り組みですが、今後も地域に役立つ活動を中心に取り組んでいきたいと思っています。

相愛中学校・高等学校

震災直後から熊本地震義援金募金の活動を行いました。幸い本町通りに校門が面しており、多くの方々がお気持ちを寄せてくださいました。17万円もの義援金は、2720地区を通して「熊本地震総合支援室」に送らせて頂きました。街中での活動として RAC からお誘いいただき献血にも参加しました。

困っている方々に手をさしのべることと、国際交流をかね今年も海外研修に参加いたしました。今年度は、恵まれない小学生に未使用の文具を集め手渡しにフィリピン、セブのマクタン島に行きました。リゾートとの評判で、文具を受け取って喜んでくれるような小学生がいることが信じられませんでした。空港からのバスからの景色が、大きな建物もなく、真っ暗な中道ぎわに続く露店には、窓もなく、ドアもなく、それでいて人がぞろぞろ歩いていたので、夜出歩くのは危険なところと判り、子どもの置かれている状況がすぐわかりました。文具を届けた小学校では、生徒はもちろん先生方、保護者の皆さんの歓待ぶりは想像を超えていて、そのエネルギーに圧倒されました。子どもたちの笑顔はすばらしく、活気にあふれていました。私たちの誠意が島の子どもに刻み込まれ、わずかでも社会格差の解消につながればと願っています。

8月27日、28日の二日におわたって香港のインターアクターと交流をしました。浪速高校、金光八尾高校と合同での対応で、私たちの校舎では、能楽師の山本先生の仕舞の鑑賞、茶道体験と交流会をしました。海遊館見学、募金活動、あべのハルカスからの眺望を楽しんでももらいました。交流のなかで私たち自身も日本の文化をもっと学び伝える必要を感じました。同時にこの機会が日本の再発見となりました。文化的素養や品格を、塾や学校ではなかなか学べませんが、こうして良い機会を与えていただいたことで、私たちはより豊かに学ぶことができます。ここに御礼を申し上げ、ご報告とさせていただきます。ありがとうございました。



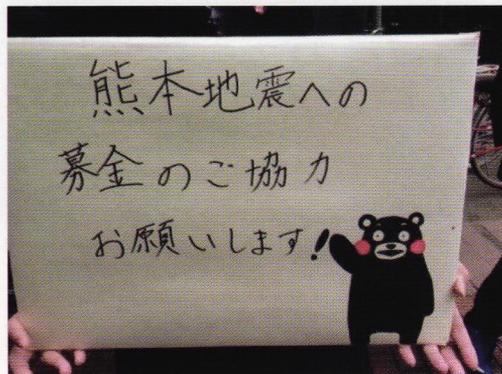
大阪国際大和田中学校・高等学校

大和田高校インターアクトクラブは平成 26 年から活動を開始して、今年で 3 年目になります。昨年の 12 月には、ユニセフ募金を実施しました。朝と放課後に分けて数日間行ったのですが、多くの生徒達が協力してくれました。校門に立っていると、先生方から「頑張れ」というお言葉を頂き、とても励みになりました。活動を通じて、自分には関係がないからと無関心ではなく、できることを少しずつでも取り組んでいくことが大事だと思いました。そして、命の重さと生きることの大切さを学びました。

新入生歓迎会では、他校のインターアクト生と交流を深めました。焼き板やバーベキュー、クイズなどのゲームを通して多くの人達と触れ合い、楽しい時間を過ごしました。今までに行ってきたボランティア活動や、志望校、将来の夢について話すなど、お互いに良い刺激にもなりました。また皆さんと会うのが楽しみです。

4 月 14 日に発生した熊本地震に伴い、校内で緊急募金を行いました。30 人の新入生も加わり、より一層充実した活動となりました。その甲斐もあって、国際ロータリー 2770 地区ガバナー前田様より感謝状を頂きました。熊本の復興に少しでも貢献できたことを実感でき、嬉しかったです。また、文化祭ではチャリティーバザーを催して、復興の支援に尽力しました。募金と同様、多くの方々にご協力頂きました。

普段の活動として、本校インターアクトクラブでは週に 2 度、地域清掃を行っています。たばこの吸い殻や空き缶など、ポイ捨てされたごみを集める仕事です。自分達が毎日利用している歩道を綺麗にするのは達成感があり、また、清々しい気持ちで通学できます。清掃している際に、「ありがとう」と温かい言葉を掛けてくださる方もいて、やりがいのある活動です。日々の地道な活動を大切にしつつ、これからも様々な活動に参加していきたいと思っています。



高槻中学校・高等学校

高槻中学校・高等学校インターアクトクラブは昨年より活動を開始し、今年で2年目を迎えました。紙媒体だけでなく SNS などでもボランティアに関する情報を発信することで、普段奉仕活動には関心が薄い人達にも少しでもボランティアについて興味を持ってもらえるよう努めており、クラブへの参加人数は30名となりました。

4月に熊本地震に際した募金活動を校内で行ったりあしなが学生募金活動に参加したりしました。募金活動に参加していく中で年々受動的に参加しているだけということが減ったような気がします。

5月と7月には隣駅までの約5kmの道のりを歩きながら掃除をしたり、通りすがった方に挨拶をしたりするというクリーンハイクを行いました。日曜日の朝から掃除に勤しむというのは何か感慨深いものがありました。学校周辺がせめてゴミが捨てづらくなるようにこれからも定期的に清掃活動を続けていきたいと思えます。

8月には、フィリピンに海外研修に行きました。現地の小学生に文房具を送ったりインターアクターと交流したりしました。英語や言語以外でのコミュニケーションの貴重な機会だっただけでなく、普段生活している日本を飛び出すことで自国の文化を見つめなおし、他国の文化の良さに気づく良い経験でした。

夏の高槻祭りの中で高槻 RC、薬剤師会、そして警察の皆さんと共に薬物防止キャンペーンを行いました。私たちはマスコットの着ぐるみを着たりビラを配ったりすることで、危険ドラッグが身近なところにも潜んでいるので、決して他人事では無いことを訴えました。人生初の着ぐるみ体験と共に薬物の恐ろしさを再確認することが出来ました。

また、森ノ宮献血センターの方の協力を仰ぎ、実際に血液が保管されている場所を見学させていただき、その後、大阪各地に出向いて献血の呼びかけを行いました。若い世代の献血が減っている中、私たちと同じような年齢の人が呼びかけに足を止めてくれたときはとても嬉しかったです。また、冬場は寒さや風邪などにかかりやすいという理由で血液が不足しがちであることを知ったのでこれからの活動に役立てていきたいです。

10月に開催された大阪マラソンにボランティアスタッフとして参加しました。ほかの活動より催しの規模がはるかに大きい分だけ、得られる達成感も大きかったです。

今後も様々な奉仕活動に参加することで大きく成長できればと思っております。



2016—2017年度

RI2660地区

各インターアクトクラブ名簿

清風学園インターアクトクラブ

A D D R E S S : 〒543-0031 大阪市天王寺区石ヶ辻町 12-16

P H O N E : 06-6771-5757 FAX 06-6772-3882

S P O N S O R C L U B : 大阪南ロータリークラブ

A D D R E S S : 〒556-0011 大阪市浪速区難波中 1-12-5 難波室町ビル 8 階

P H O N E : 06-6647-6236 FAX 06-6647-6237

F O U N D E D : 1975 年 7 月 22 日

大阪南ロータリークラブ インターアクト委員会

名 前	役職	名 前	役職	名 前	役職
寺嶋 直大	委員長	川口 久美雄	委員	狭川 正	委員
早瀬 祥人	副委員長	奥長 浩一	委員	鮫島 武信	委員
廣内 謙	委員	力身 総一郎	委員		委員

清風学園インターアクトクラブ

《顧問》 中村 明夫・儀満 光治・森田 一義

名 前	役職	学年	名 前	役職	学年
山下 永遠	会長	高 2	三浦 夏樹		高 1
宮野入 悠太	副会長	高 2	村岡 洵弥		高 1
山野 大樹	会計	高 2	和田 典悟		高 1
平尾 一成	幹事	高 2	石橋 和樹		高 1
濱口 蒼太	幹事	高 2	酒井 佑介		高 1
櫛部 湧人		高 2	藤井 大貴		高 1
好井 昂太郎		高 2	奥田 功太郎	中学会長	中 3
鳥阪 大史		高 2	凶所 良太		中 3
三重野 航平		高 2	鈴木 隆行		中 3
中井 大智		高 2	日比 功太		中 3
植田 廉太郎		高 2	矢田 隼也		中 3
佐藤 宏樹		高 2	岩壺 拓真		中 3
川本 新		高 2	原田 雄斗		中 2
湯淺 鉄平		高 2	前田 峻輝		中 2
服部 佑一郎		高 2	栗岡 賢誠		中 2
津田 敦		高 2	小林 由和		中 2
中平 雄一郎		高 1			
秋月 優輝		高 1			
儀満 光紀		高 1			
加藤 和真		高 1			

大阪桐蔭中学・高等学校インターアクトクラブ

A D D R E S S : 〒574-0013 大東市中垣内 3-1-3

P H O N E : 072-870-1001 FAX 072-875-3330

S P O N S O R C L U B : 大東ロータリークラブ

A D D R E S S : 〒574-0046 大東市赤井 1-2-10 ポップタウン住道本館 4階

P H O N E : 072-875-1200 FAX 072-875-0590

F O U N D E D : 1976年6月8日

大東ロータリークラブ インターアクト委員会

名 前	役職	名 前	役職
中野 隆二	委員長	空門 満也	委員
柿木 篤	委員	西山 潤一	委員

大阪桐蔭中学・高等学校インターアクトクラブ

《顧問》 仲谷 浩一・浦木 道史・山西 啓太

名 前	役職	学年	名 前	役職	学年
岡山 昂司	会長	高2	木元 友理香		高1
澤田 有矢	副会長	高2	松井 春佳		高1
井上 麻菜美	副会長	高2	山本 慧		高1
山口 優映	副会長	高2	福山 未夕		高1
阿部 光祐	副会長	高2	岡市 隆平		高1
池上 耀一郎	幹事	高2	福田 雄也		高1
松井 優季	幹事	高2	北原 舜也		高1
安藤 理華子	幹事	高2	深澤 朱音		中1
塚本 理沙	幹事	高2	西田 樹生		中1
大木 壮		高2	山口 ひな		中1
扇田 隼輔		高2			

浪速中学校・浪速高等学校インターアクトクラブ

A D D R E S S : 〒558-0023 大阪市住吉区山之内 2-13-57

P H O N E : 06-6693-4031 FAX 06-6693-6511

SPONSOR CLUB : 大阪帝塚山ロータリークラブ

A D D R E S S : 〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町 2-3-5 藤和シティスクエア 503号室

P H O N E : 06-6628-0450 FAX 06-6628-0451

F O U N D E D : 1982年4月1日

大阪帝塚山ロータリークラブ インターアクト委員会

名 前	役職	名 前	役職	名 前	役職
小池 貢	委員長	足立 菅治	副委員長	小島 康秀	委員
山下 義一	委員	渡邊 純一	委員		

浪速中学校・浪速高等学校インターアクトクラブ

《顧問》 黒寄 博文・田井 香織・西岡 真由美・伊藤 富樹

名 前	役職	学年	名 前	役職	学年
藤田 涼佑		高3	出水 里歩		高2
鬼頭 さくら		高3	児嶋 大河		高2
林 直進		高3	井上 玲華		高1
相良 健太朗		高3	東尾 萌々		高1
石田 紗彩		高3	木瀬 敢太	副会長	高1
泉本 莉那		高3	木下 慧斗	副会長	高1
伍用 英美里		高3	八木 風雅	会長	高1
吉野 美和		高3	前田 里江		高1
當山 虎太朗		高3	濱野 奈央		高1
山田 優芽花		高2	近澤 詠玲		高1
川原 晃己		高2	藤浪 稜馨		高1
曾田 優輝		高2	佐藤 龍一		高1
村上 真衣		高2	山形 奈槻		高1

四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブ

A D D R E S S : 〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺 1-11-73

P H O N E : 06-6772-6201 FAX 06-6773-4113

S P O N S O R C L U B : 大阪天王寺ロータリークラブ

A D D R E S S : 〒543-0055 大阪市天王寺区悲田院町 8-11 親和興産ビル 302 号

P H O N E : 06-6772-5816 FAX 06-6779-7956

F O U N D E D : 1983 年 3 月 17 日

大阪天王寺ロータリークラブ インターアクト委員会

名 前	役職	名 前	役職	名 前	役職
西浦 誠二	委員長	松井 隆雄	副委員長	川上 哲司	委員

四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブ

《顧問》 岡 宏治・梶本 康子・西矢 貴文・松本 真奈

名 前	役職	学年	名 前	役職	学年
西村 明倫		高 3	梶浦 風紗		中 3
中本 叶望		高 3	伏見 比那子		中 3
宏月 章乃	会長	高 3	高嶋 歩香		中 3
羅 欣怡		高 3	勝村 満里奈		中 3
石田 もも	会計	高 3	甲田 もも	中学部長	中 3
笠島 真帆		高 2	阪上 礼奈	中学会計	中 3
乾 叶果		高 2	完山 百合乃		中 3
石橋 加保莉		高 2	鍵本 風花		中 3
山本 明日香		高 2	頃安 瑞希		中 3
坂本 舞	会計	高 2	砺山 名月		中 3
勝二 江里奈		高 2	西松 結子		中 3
嶋田 里香		高 2	兵頭 虹香		中 3
渡井 友貴		高 2	吉田 彩伽		中 3
足立 千紘		高 2	稲上 陽菜		中 2
窄中 麻衣		高 2	吉野 瑳記		中 2
田村 菜裕	部長	高 2	片山 智裕		中 2
小手川 菜波		高 1	吉田 明里		中 2
西田 彩香		高 1	乾 叶佳		中 2
三好 恵理花		高 1	片桐 礼捺		中 2
星野 未果		高 1	小谷 奈々		中 2
大上 真奈		高 1	北元 虹香蘭		中 1
富尾 真奈花		中 3	山下 咲喜		中 1
中村 藍紀		中 3	東島 凜		中 1
瓜園 千紗		中 3	三浦 綾音		中 1
實 彩那		中 3	村中 千尋		中 1

金光八尾中学校高等学校インターアクトクラブ

ADDRESS : 〒581-0022 八尾市柏村町 1-63
 PHONE : 072-922-9162 FAX 072-922-4496
 SPONSOR CLUB : 八尾ロータリークラブ
 ADDRESS : 〒581-0006 八尾市清水町 1-1-6 八尾商工会議所 208 号室
 PHONE : 072-991-2129 FAX 072-924-0010
 FOUNDED : 1987 年 7 月 29 日

八尾ロータリークラブ インターアクト委員会

名 前	役職	名 前	役職	名 前	役職
西 秀樹	委員長	田中 康正	委員	中西 広美	委員

金光八尾中学校・高等学校インターアクトクラブ

《顧問》 前田 裕子・金崎 桂悟・森 祥太郎・堀口 智哉

名 前	役職	学年	名 前	役職	学年
藤本 有江	会長	高 2	北尾 明日香		高 3
古田 篤哉	幹事	高 2	水田 夏乃瑚		高 3
二俣 善紀		高 3	伊藤 祐弥		高 2
日下部 瑞穂		高 3	山下 晴生		高 2
芝下 隼矢		高 3	野中 一樹		高 2
本田 あゆみ		高 3	西村 玲於奈		高 2
森本 佑輝		高 3	岩本 有加		高 1
福住 小雪		高 3	柳 美初		高 1
綱谷 優		高 3	浜田 佳奈		高 1
牧野 翔太		高 3	小阪 直輝		中 3
池 知恵		高 3			
木下 七海		高 3			
魚山 理恵		高 3			

相愛中学・高等学校インターアクトクラブ

A D D R E S S : 〒541-0053 大阪府中央区本町 4-1-23

P H O N E : 06-6262-0621 FAX 06-6262-0534

S P O N S O R C L U B : 大阪ロータリークラブ

A D D R E S S : 〒530-0005 大阪府北区中之島 5-3-68 リーガロイヤルホテル 418 号室

P H O N E : 06-6441-7930

F O U N D E D : 2003 年 9 月 5 日

大阪ロータリークラブ インターアクト委員会

名 前	役職	名 前	役職	名 前	役職
川瀬 康平	委員長	笠谷 昌宏	委員	銭高 丈善	委員
芳賀 清	副委員長	小泉 祐助	委員		
山田 惣一郎	副委員長	田野瀬 太樹	委員		

相愛中学・高等学校インターアクトクラブ

《顧問》 若生 哲・杉本 肇子

名 前	役職	学年	名 前	役職	学年
笠 真央	会長	高 3	浦島 菜那	会長	中 3
長谷川 恵美		高 3	向井 りな		中 3
松岡 のどか		高 3	村田 都		中 3
有田 朋加		高 3	山田 彩未		中 3
大土 翼		高 2	小松 磨未子		中 3
源 明日香		高 2	奥田 雛子		中 3
森定 里菜		高 2			

大阪国際大和田中学校・高等学校インターアクトクラブ

A D D R E S S : 〒570-8555 守口市藤田町 6-21-57

P H O N E : 06-6904-1118

S P O N S O R C L U B : 守口イブニングロータリークラブ

A D D R E S S : 〒570-0038 守口市河原町 10-5 ホテル・アゴラ大阪守口 5F

P H O N E : 06-6995-7440

F O U N D E D : 2014年4月1日

守口イブニングロータリークラブ インターアクト委員会

名 前	役 職	名 前	役 職
横山 永知	委員長	辻 良介	副委員長 (青少年奉仕担当)

大阪国際大和田中学校・高等学校インターアクトクラブ

《顧問》 松川 稔・北村 円・辻 莊一・飯田 涼太郎

名 前	役職	学年	名 前	役職	学年
岡島 太郎		高2	佐藤 花捺		高2
菱川 梨紗		高2	佐々木 彩結		高2
末吉 祐奈	会長	高2	吉治 夕佳里		高2
白木 綾乃	副会長	高2	上原 知紗		高2
国司 誠人		高2	柏木 ゆい		高2
許斐 風香		高2	矢追 佑梨		高1
相川 友紀		高1	伊藤 詩織		高1
小崎 暉斗		高1	今井 南々帆		高1
谷川 太一		高1	片山 瑞穂		高1
山田 克樹		高1	谷 綾乃		高1
伊部 麻佑		高1	堀田 優花		高1
小椋 和莉		高1	塩田 晃大		高1
下西 美佑		高1	西 健斗		高1
森田 ゆきの		高1	山口 諒也		高1
濱田 彩		高1	大上 晴郁		高1
大島 桃音		高1	和田 萌花		高1
佐野 友香		高1	新 智貴		高1
高橋 愛		高1	玉村 優人		高1
立山 千恵香		高1	津曲 優輝		高1
谷口 早紀		高1	岸 和沙		高1
百井 花		高1	山田 真実		高1
田中 梓		高1	星加 千晴		高1

高槻中学校・高等学校インターアクトクラブ

A D D R E S S : 〒569-8505 高槻市沢良木町 2-5

P H O N E : 072-671-0001 FAX 072-671-0081

S P O N S O R C L U B : 高槻ロータリークラブ

A D D R E S S : 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 オーロラモール高槻西武 6階

P H O N E : 072-683-1158 FAX 072-683-1174

F O U N D E D : 2015年10月1日

高槻ロータリークラブ インターアクト委員会

名 前	役職	名 前	役職	名 前	役職
内本 繁	地区委員	橋本 憲治	委員長	馬淵 晴彦	委員
朝倉 通憲	委員	前内 宏文	委員		

高槻中学校・高等学校インターアクトクラブ

《顧問》 田中 敏博・畠山 昌三・加藤 廣太・後藤 陽・松本 悠暉

名 前	役職	学年	名 前	役職	学年
安部 政俊	会長	高1	高瀬 陽向		高1
倉場 康太	副会長	中3	岸本 知也		高1
齋藤 惟成	幹事	高1	市川 紘太郎		高1
長島 拓海	会計	高1	滝野 哲也		高1
新熊 璃久	理事	中3	長江 龍之介		高1
田村 一真	理事	高1	洪 成樹		高1
赤穂 志文		高1	田中 慶彦		高1
島田 魁智		高1	今井 健人		中3
草山 蒼波		高1	小笠原 悠太		中1
隠岐 嘉人		高1	鈴木 滉		高2
中川 耕介		高1	小野塚 悠斗		高2
木下 涼		高1	奥西 篤紀		高2
長谷 陸里		高1	前田 航世		高2
木村 嘉人		高1	木佐貫 拓真		高2
奥村 拓斗		高1			

RI 第2660地区 インターアクトクラブ

ローテーション表(予定)

年度	年次大会 新入生歓迎会 当番校	海外研修 当番校	スクラム当番校	委員長
2016-17	大阪桐蔭 大東RC	浪速 大阪帝塚山RC	大阪国際大和田 守ロイブニングRC	大阪帝塚山 RC
2017-18	相愛 大阪RC	四天王寺 大阪天王寺RC	高槻 高槻RC	大阪RC
2018-19	浪速 大阪帝塚山RC	大阪国際大和田 守ロイブニングRC	金光八尾 八尾RC	大東RC
2019-20	四天王寺 大阪天王寺RC	高槻 高槻RC	清風 大阪南RC	大阪天王寺 RC
2020-21	大阪国際大和田 守ロイブニングRC	金光八尾 八尾RC	大阪桐蔭 大東RC	守ロイブニング RC
2021-22	高槻 高槻RC	清風 大阪南RC	相愛 大阪RC	高槻RC
2022-23	金光八尾 八尾RC	大阪桐蔭 大東RC	浪速 大阪帝塚山RC	八尾RC
2023-24	清風 大阪南RC	相愛 大阪RC	四天王寺 大阪天王寺RC	大阪南RC
2024-25	大阪桐蔭 大東RC	浪速 大阪帝塚山RC	大阪国際大和田 守ロイブニングRC	大東RC

編集後記

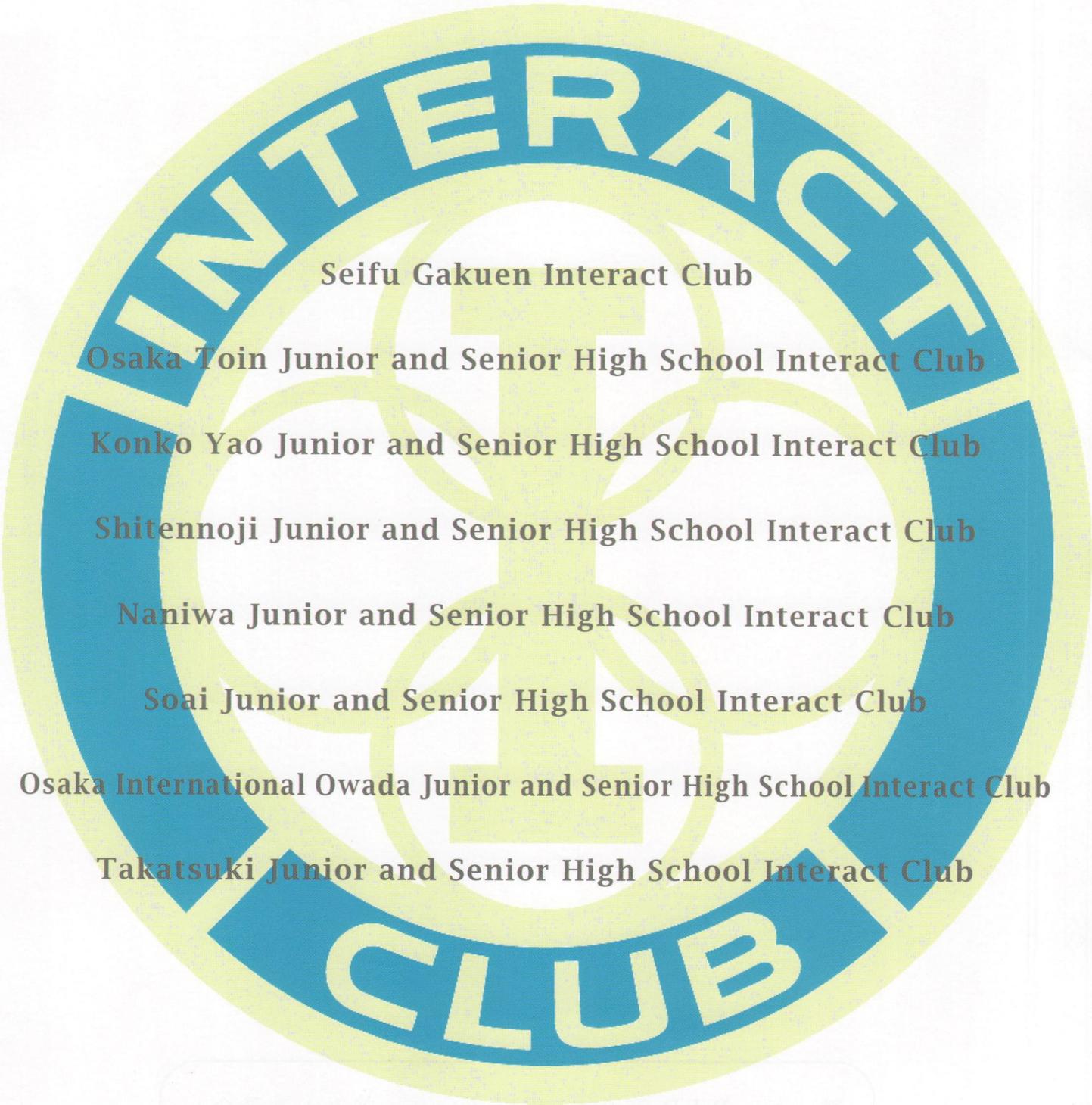
6月に行われた新入生歓迎会、8月のセブ島研修、11月の年次大会。今年度も無事に三つの行事を終えることができました。合同行事のたびに、インターアクトが大きな活動であることを実感するのではないのでしょうか。大和田高校インターアクトクラブが活動を始めて三年。多くの出会いがありました。皆様との出会いをこれからも楽しみに、また大切にしたいと考えています。

本校でユニセフ募金を実施する前に、大阪にあるユニセフの事務所を訪れ、ボランティアの方にユニセフの活動について教えていただきました。最後に「笑顔の三重奏」というお言葉で、奉仕について話をして下さいました。「共に活動するボランティア仲間との笑顔」「小学校等に奉仕に行った際の、訪問先での笑顔」「支援を届けている海外の子供達の笑顔」この3つを楽しみに活動しておられるということでした。私達インターアクトの精神にも、大きくつながる部分があるように感じました。

最後になりましたが、このスクラムを編集、発刊するにあたりご協力いただきましたロータリアンの皆様、各校顧問の先生方、ガバナー事務所の皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

大阪国際大和田中学校・高等学校
インターアクトクラブ顧問一同

発行 R.I.D.第 2660 地区インターアクト委員会
担当校 大阪国際大和田中学校・高等学校
編集者 小池 貢（地区委員長）
発行日 2017年3月



INTERACT

Seifu Gakuen Interact Club

Osaka Toin Junior and Senior High School Interact Club

Konko Yao Junior and Senior High School Interact Club

Shitennoji Junior and Senior High School Interact Club

Naniwa Junior and Senior High School Interact Club

Soai Junior and Senior High School Interact Club

Osaka International Owada Junior and Senior High School Interact Club

Takatsuki Junior and Senior High School Interact Club

CLUB

